

第5次八戸市総合計画・八戸市復興計画

有識者アンケート調査

報 告 書

平成24年7月

八 戸 市

— 目 次 —

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| 2. アンケート結果（総合計画） | |
| (1) 住民自治の推進・自治体経営の強化 | 2 |
| (2) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画 | 4 |
| (3) 産業・雇用 | 6 |
| (4) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障 | 8 |
| (5) 環境・リサイクル・エネルギー | 10 |
| (6) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通 | 12 |
| 3. アンケート結果（復興計画） | |
| (1) 被災者の生活再建 | 14 |
| (2) 地域経済の再興 | 15 |
| (3) 都市基盤の再建 | 16 |
| (4) 防災力の強化 | 17 |
| 4. 自由意見 | 18 |
| 参考. 調査票 | 27 |

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、第5次八戸市総合計画後期推進計画の6年間及び八戸市復興計画の10年間で重点的に取り組む施策や事業について、現在と比較して6年又は10年後にどの程度成果が現れているかを把握し、総合計画及び復興計画の進行管理に役立てることを目的として実施しました。

(2) 調査項目

総合計画後期推進計画に記載した行政分野及び復興計画に記載した施策の基本方向の別に目指す姿を基本に、6段階（十分満たされている、まあまあ満たされている、どちらともいえない、あまり満たされていない、ほとんど満たされていない、わからない）で現在の状況を評価していただきました。

※平成21年度までは5段階（十分満たされている、まあまあ満たされている、あまり満たされていない、ほとんど満たされていない、わからない）で評価していただきました。平成22年度から選択肢に「どちらともいえない」を追加しております。

(3) 調査対象

この調査は、有識者256名を対象としました。

- ①第5次八戸市総合計画の策定に携わった八戸市総合計画審議会委員、同専門部会委員及び戦略プロジェクト委員会委員並びに後期推進計画策定委員会委員の計150名
- ②八戸市復興計画検討会議委員10名（①の重複除く）
- ③市政モニター96名（①の重複除く）

(4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼・督促状を配布しました。

(5) 調査期間

平成24年5月11日に発送し、6月1日を投函締め切りとしました。

(6) 回収状況

配布数256票に対して、有効回収数は183票、有効回収率は71.5%でした。

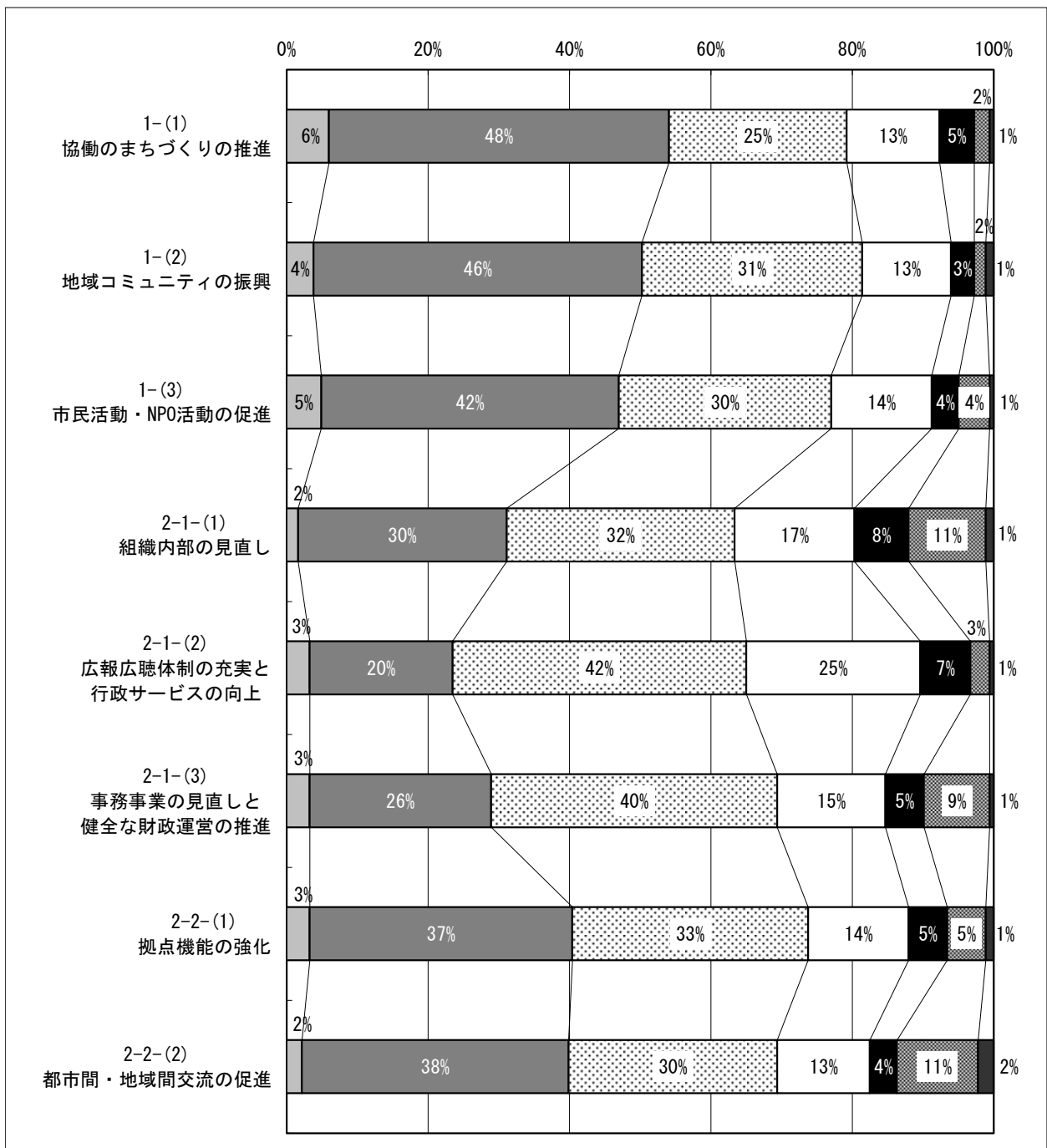
2. アンケート結果（総合計画）

（1）住民自治の推進・自治体経営の強化

1）満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「協働のまちづくりの推進」で54%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「地域コミュニティの振興」、「市民活動・NPO活動の促進」、「拠点機能の強化」と「都市間・地域間交流の促進」となっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での現状評価



十分満たされている
 まあまあ満たされている
 どちらともいえない
 あまり満たされていない
 ほとんど満たされていない
 わからない
 無回答

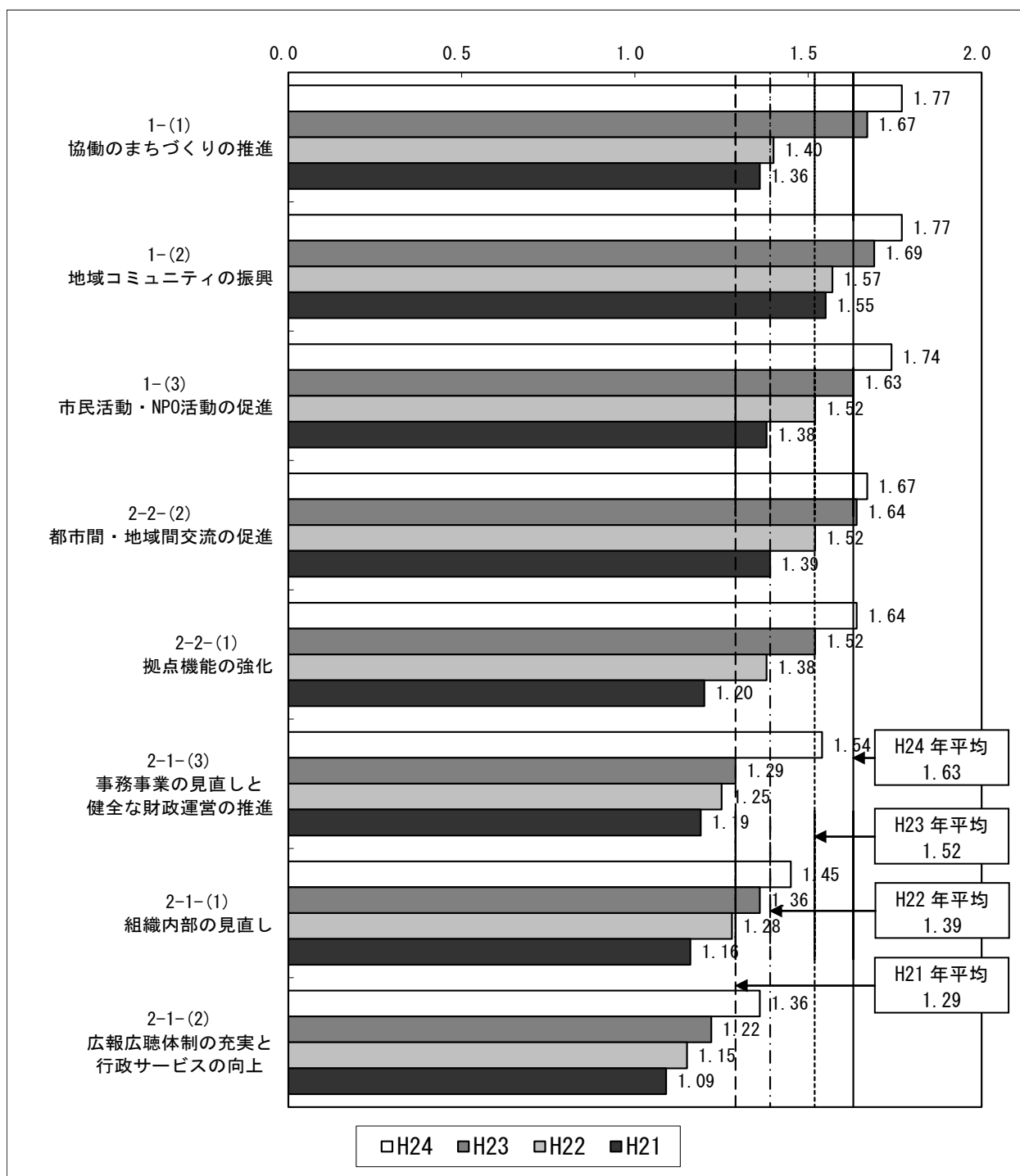
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点の平均値は1.63点であり、前回は0.11点上回りました。また、全8項目で前回は上回っています。

「協働のまちづくりの推進」や「地域コミュニティの振興」、「市民活動・NPO活動の促進」、「都市間・地域間交流の促進」、「拠点機能の強化」が平均を上回っています。一方、自治体経営の強化に関する分野が平均値以下になっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点

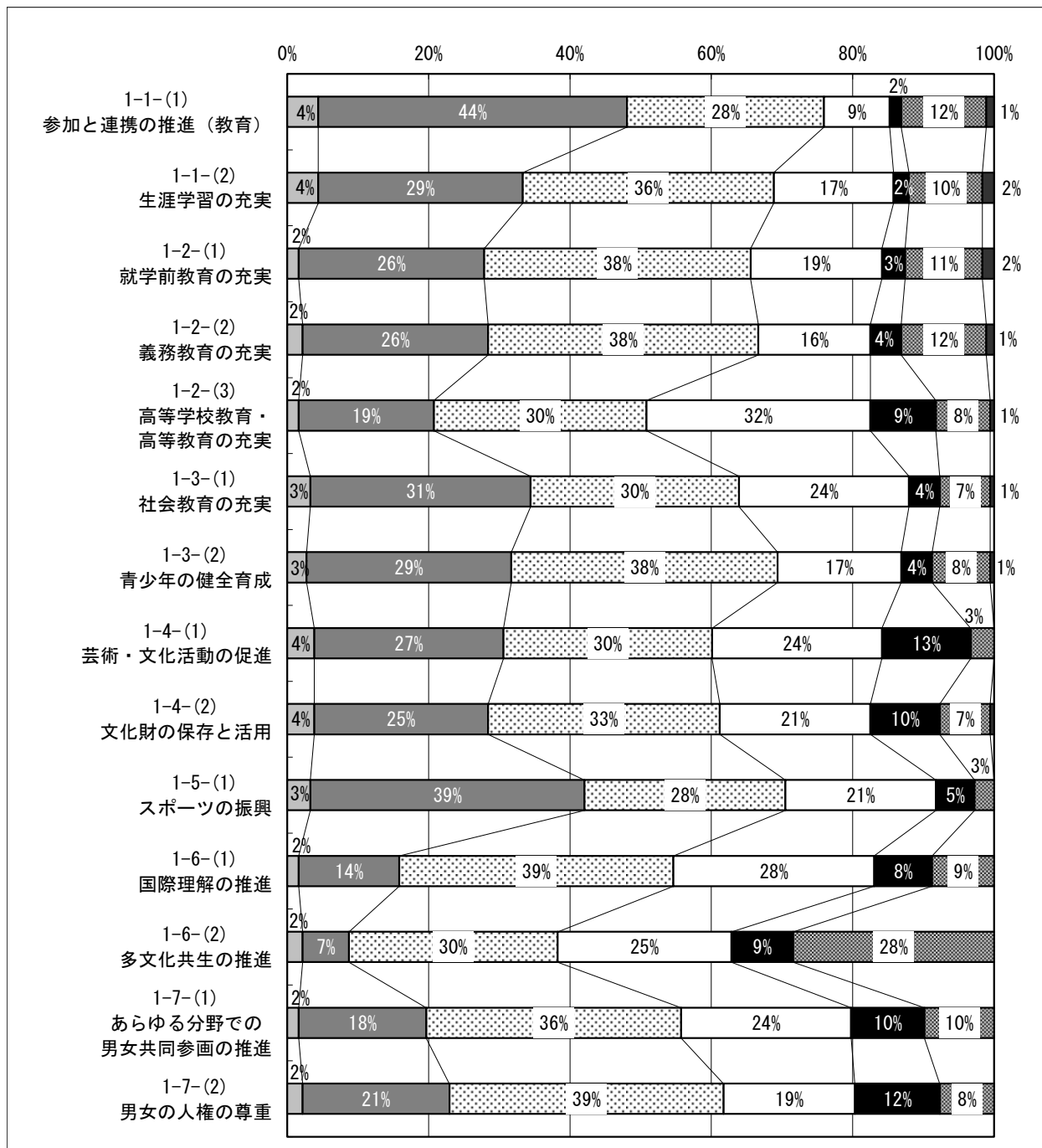


(2) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「参加と連携の推進（教育）」で48%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「スポーツの振興」となっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での現状評価



十分満たされている まあまあ満たされている どちらともいえない
 あまり満たされていない ほとんど満たされていない わからない
 無回答

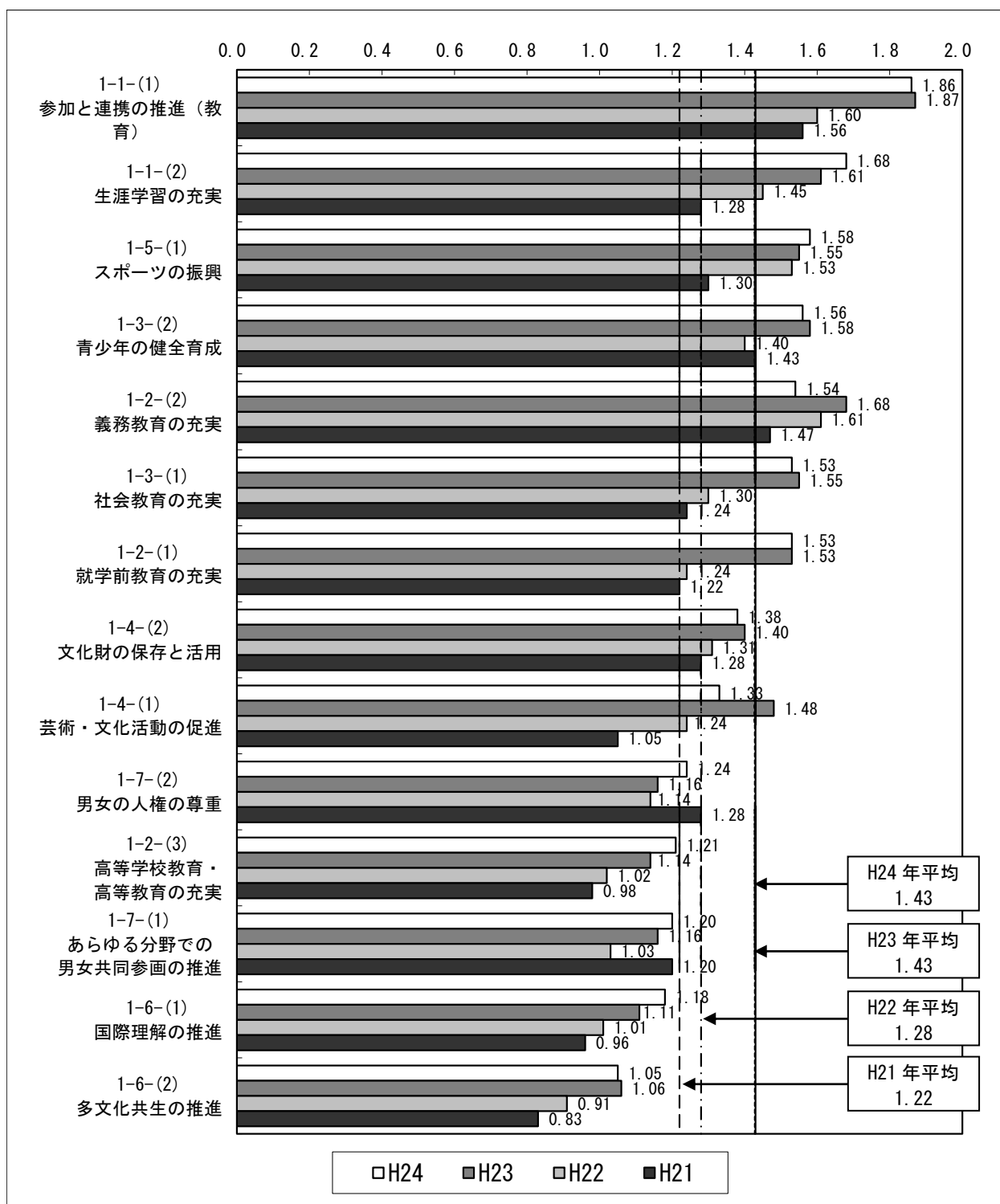
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画の分野での満足度得点の平均値は1.43点であり、前回と同様でした。また、全14項目中、6項目で前回は上回っています。

「参加と連携の推進（教育）」や「生涯学習の充実」、「スポーツの振興」などが平均を上回っています。一方、国際化や男女共同参画に関する分野が平均値以下になっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での満足度得点

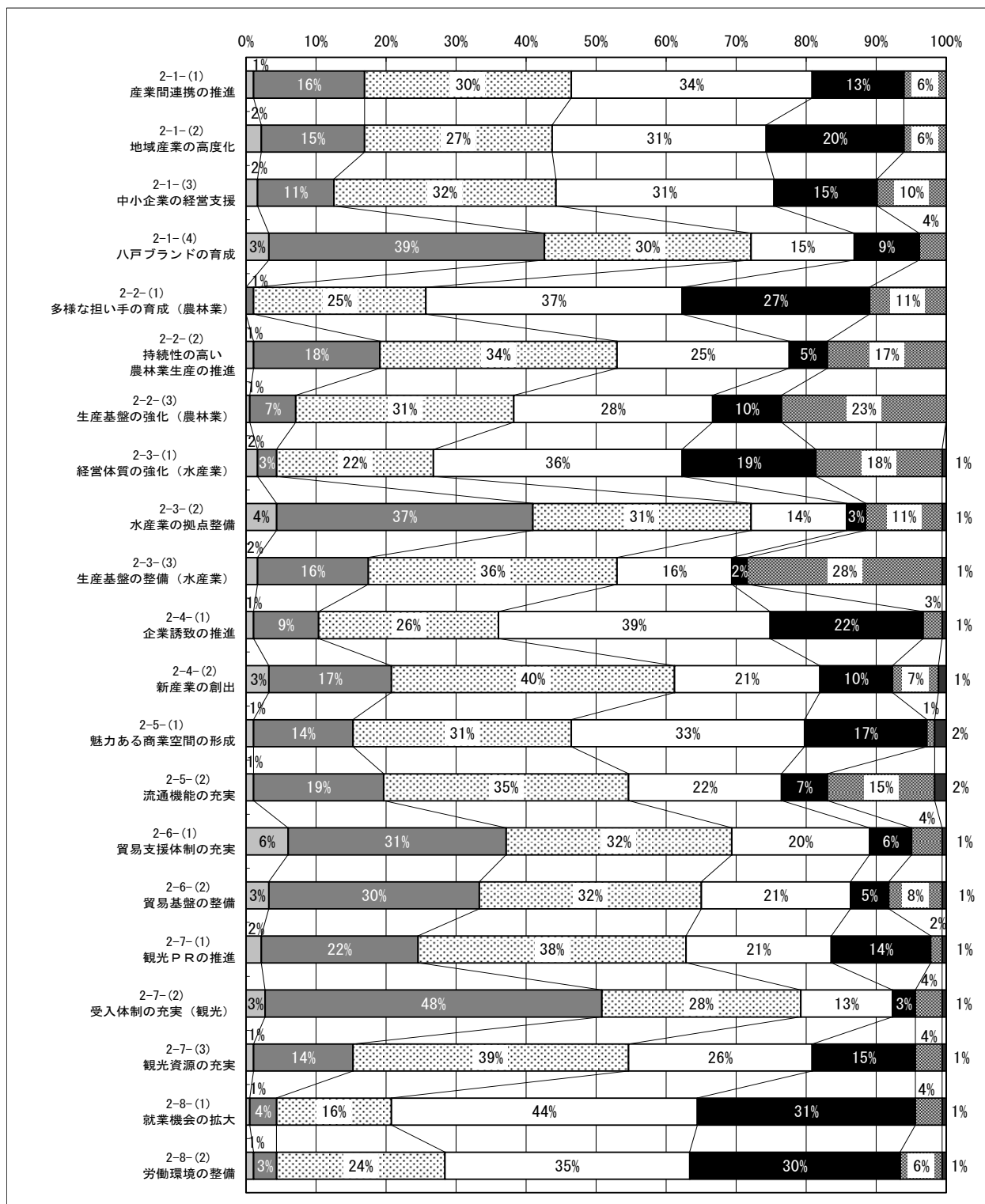


(3) 産業・雇用

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「受入体制の充実（観光）」で51%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「八戸ブランドの育成」と「水産業の拠点整備」となっています。

図 産業・雇用分野での現状評価



十分満たされている まあまあ満たされている どちらともいえない
 あまり満たされていない ほとんど満たされていない わからない
 無回答

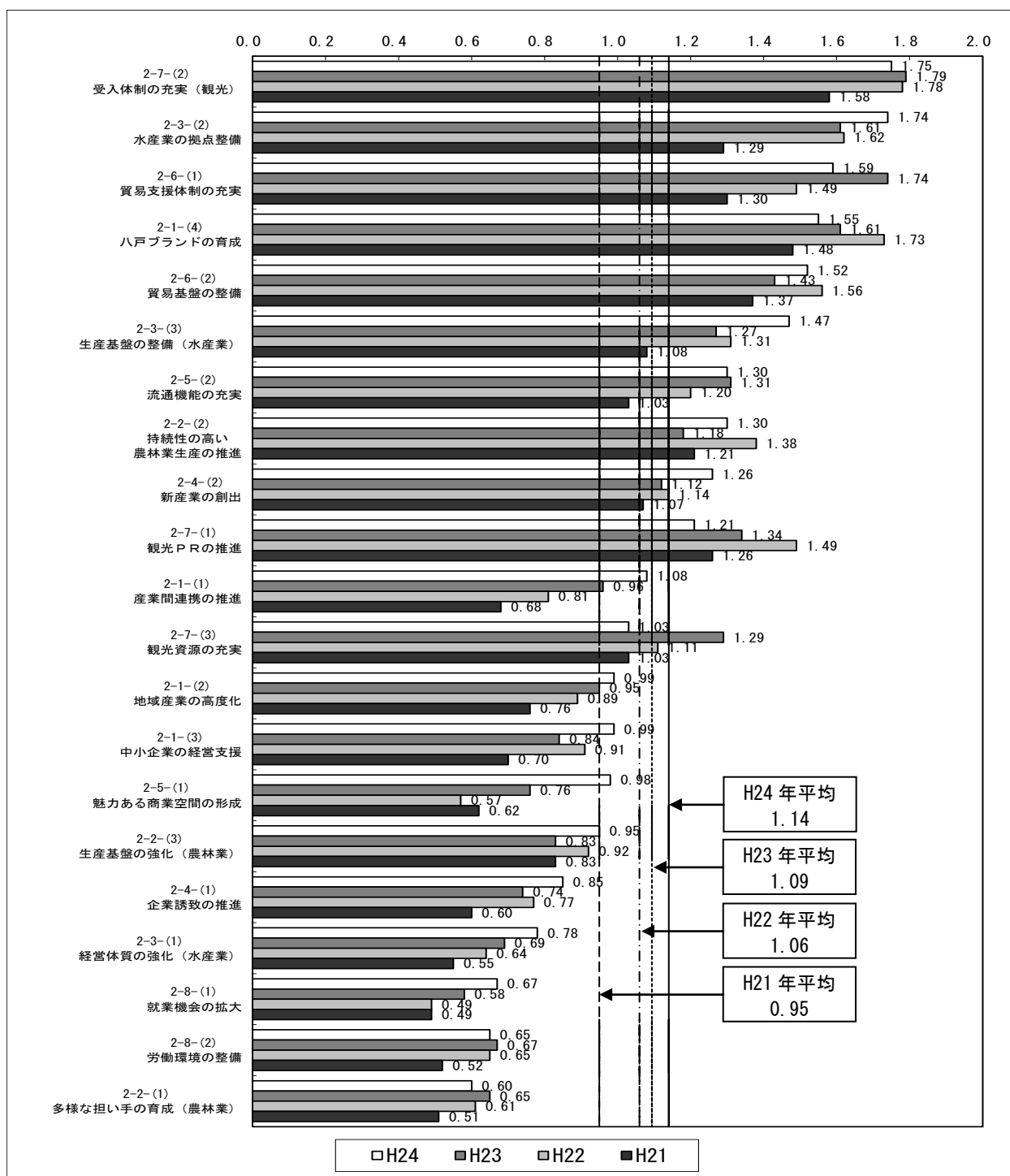
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

産業・雇用の分野での満足度得点の平均値は1.14点であり、前回は0.05点上回りました。また、全21項目中、13項目で前回は上回っています。

「受入体制の充実（観光）」や「水産業の拠点整備」など近年の新たな取組みが平均を上回っています。一方、農林業の担い手確保や労働環境の整備、就業機会、水産業の経営体質、企業誘致の推進などの分野が平均値以下になっています。

図 産業・雇用分野での満足度得点

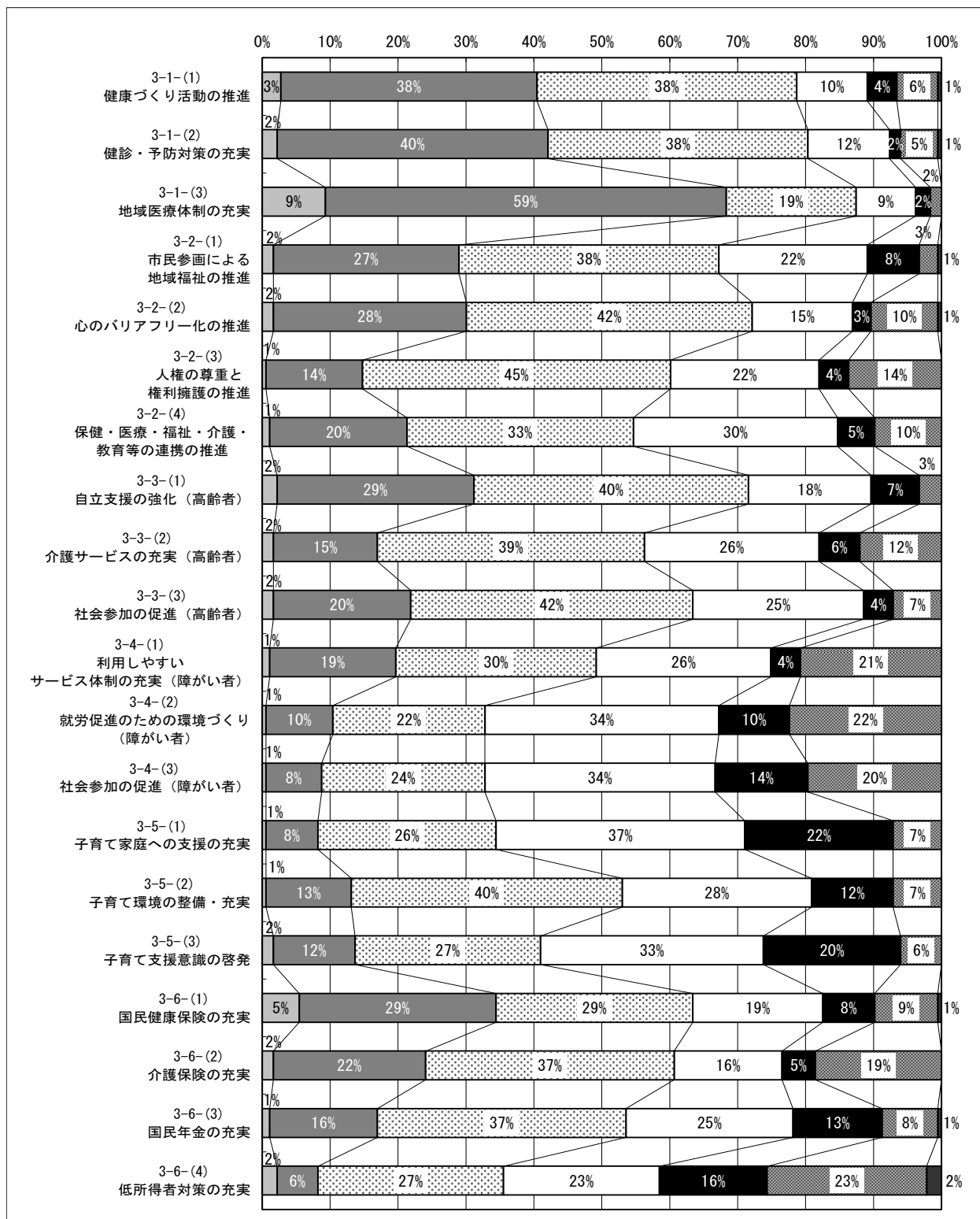


(4) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「地域医療体制の充実」で68%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」となっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での現状評価



十分満たされている まあまあ満たされている どちらともいえない
 あまり満たされていない ほとんど満たされていない わからない
 無回答

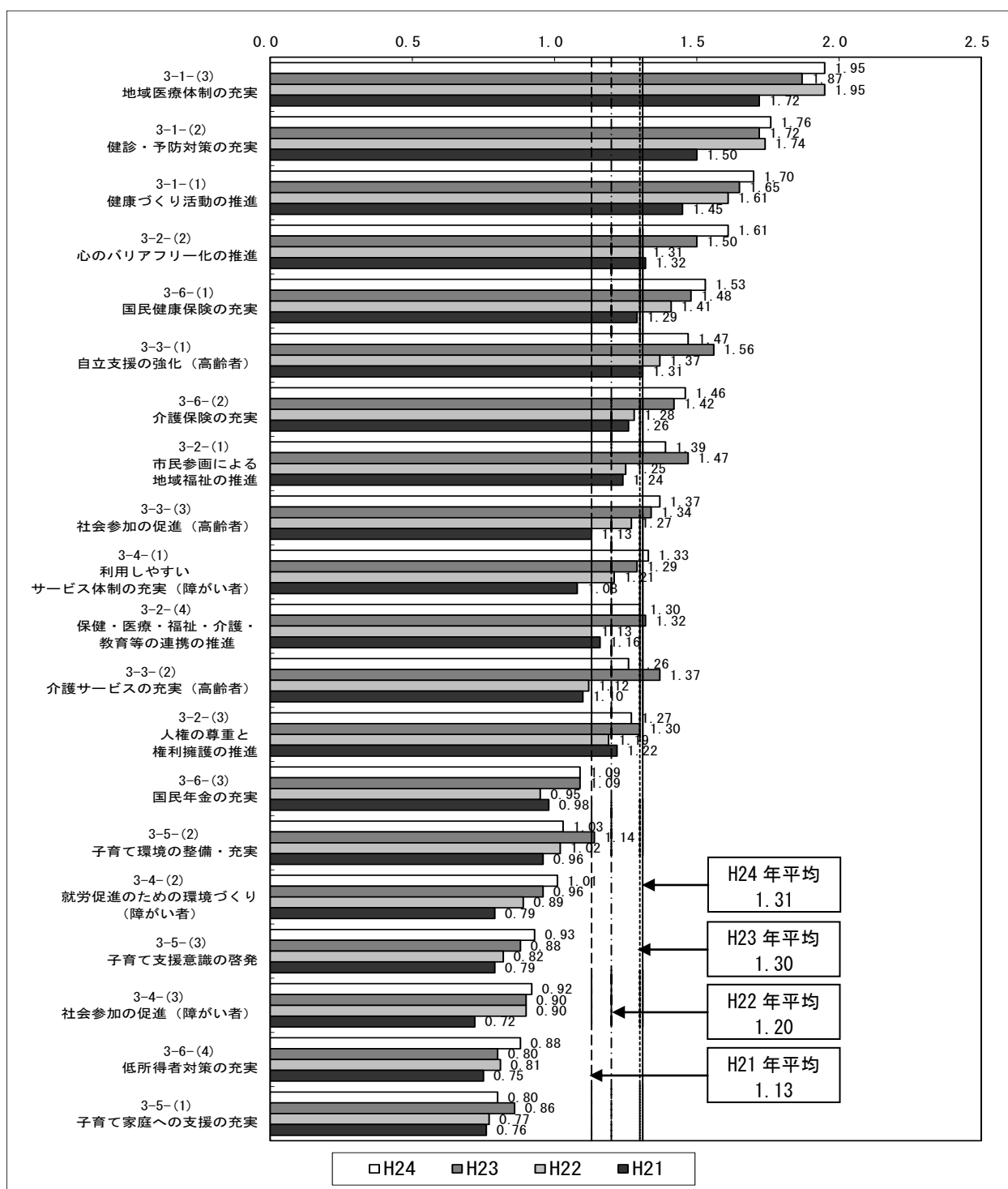
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

健康・福祉・介護・子育て・社会保障の分野での満足度得点の平均値は1.31点であり、前回は0.01点上回りました。また、全20項目中、12項目で前回は上回っています。

「地域医療体制の充実」や「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」などの医療や地域福祉に関する分野が平均を上回っています。一方、子育て支援や低所得者対策、障がい者の社会参加に関する分野が平均値以下になっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での満足度得点

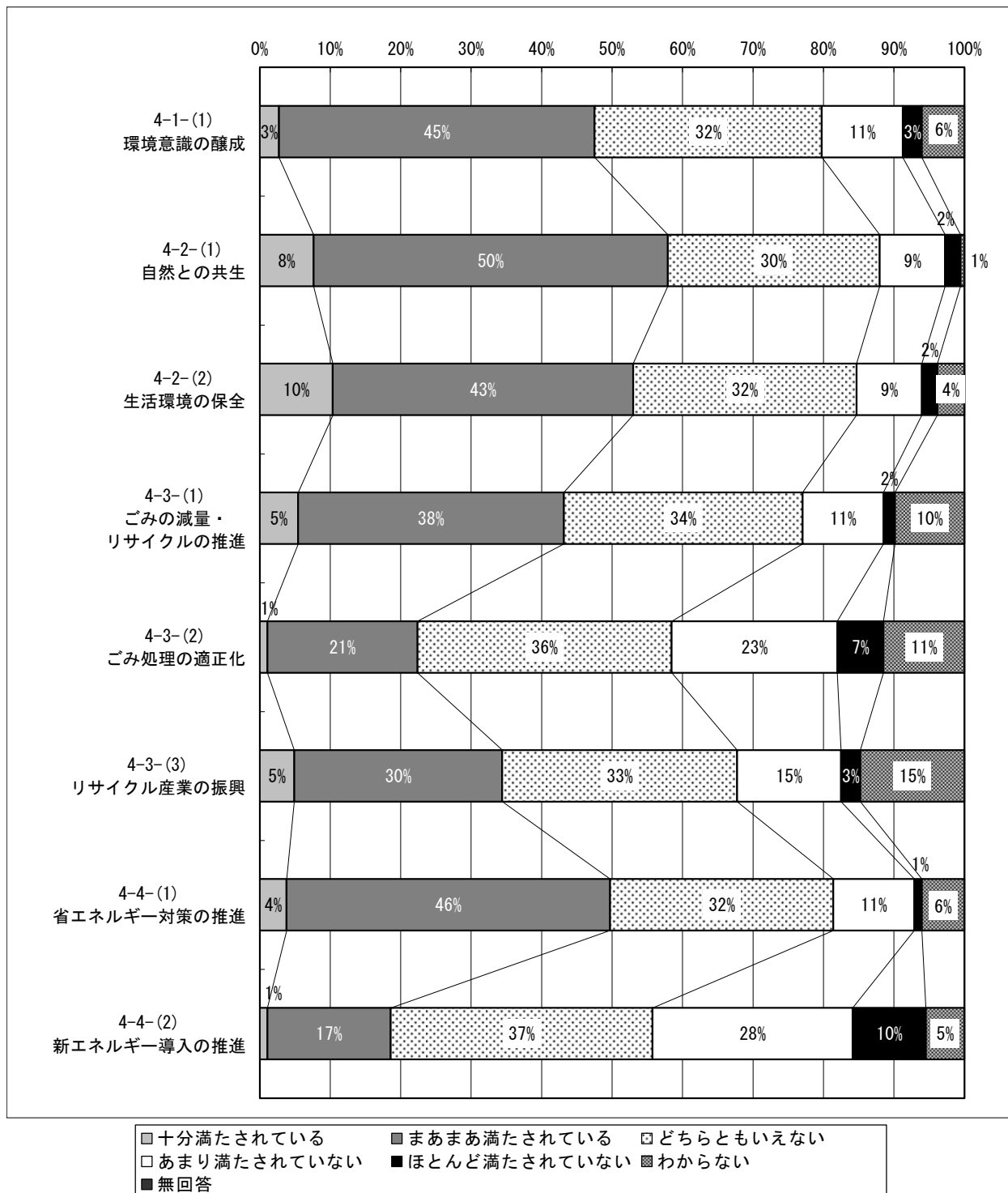


(5) 環境・リサイクル・エネルギー

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「自然との共生」で58%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「生活環境の保全」、「省エネルギー対策の推進」、「環境意識の醸成」となっています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での現状評価



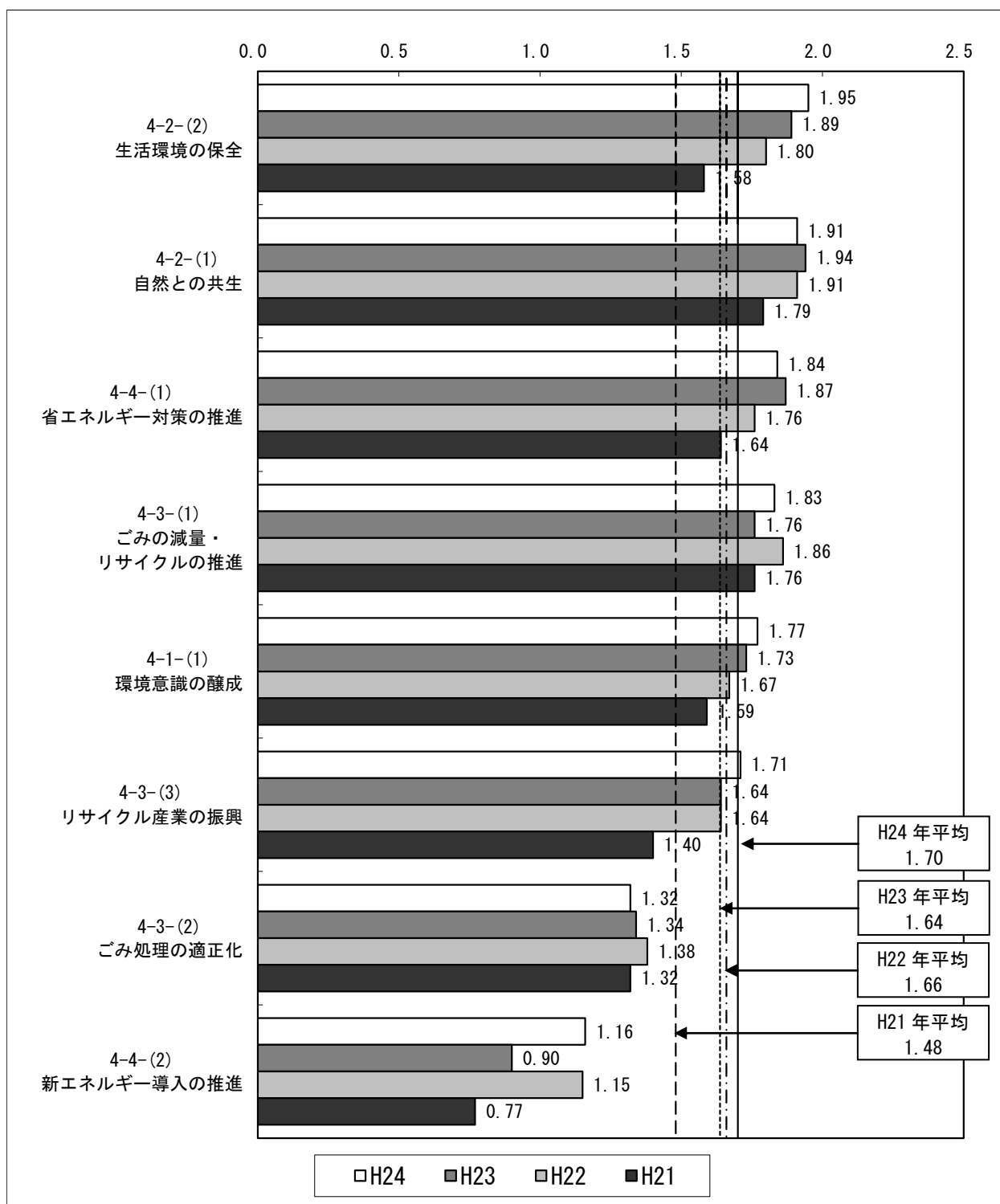
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

環境・リサイクル・エネルギーの分野での満足度得点の平均値は1.70点であり、前回は0.06点上回りました。また、全8項目中、5項目で前回は上回っています。

「生活環境の保全」や「自然との共生」、「省エネルギー対策の推進」などが平均を上回っています。一方、「新エネルギー導入の推進」と「ごみ処理の適正化」が平均値を下回っています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での満足度得点

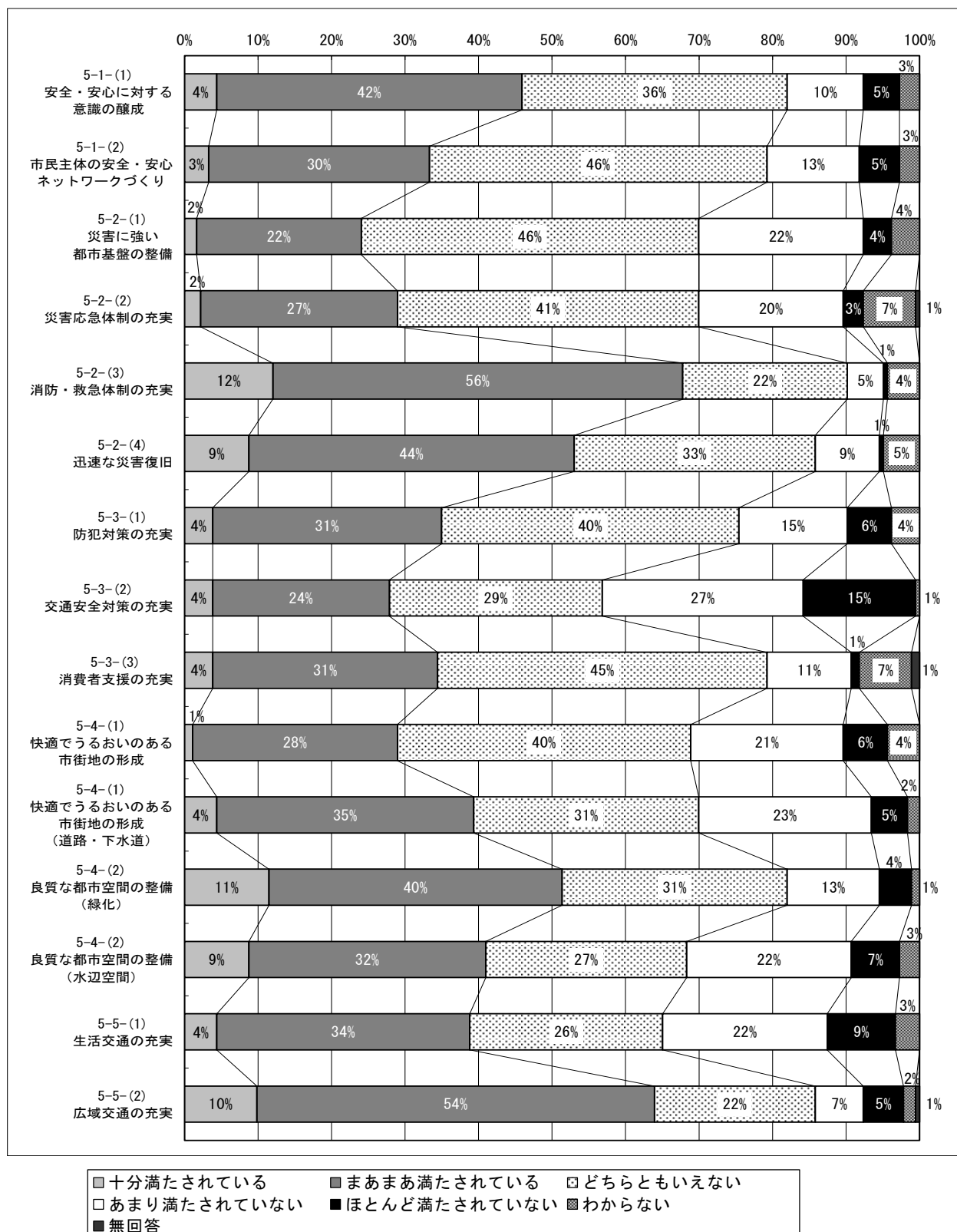


(6) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「消防・救急体制の充実」で68%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「広域交通の充実」、「迅速な災害復旧」、「良質な都市空間の整備（緑化）」、「安全・安心に対する意識の醸成」、「良質な都市空間の整備（水辺空間）」となっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での現状評価



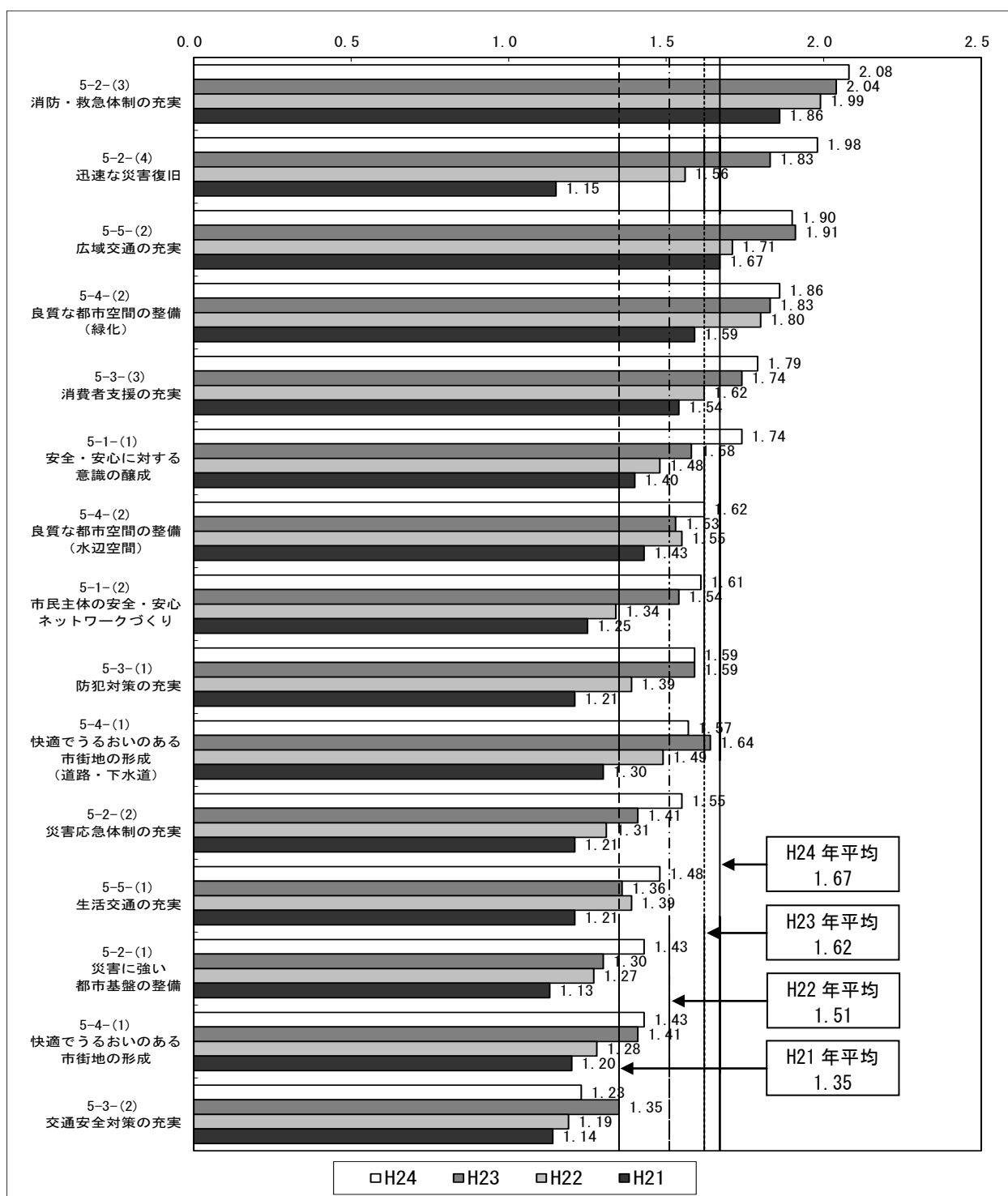
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通の分野での満足度得点の平均値は1.67点であり、前回は0.05点上回りました。また、全15項目中、11項目で前回は上回っています。

「消防・救急体制の充実」や「迅速な災害復旧」や「広域交通の充実」などが平均を上回っています。一方、交通安全や快適な市街地形成、災害対策に関する分野が平均値以下になっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での満足度得点



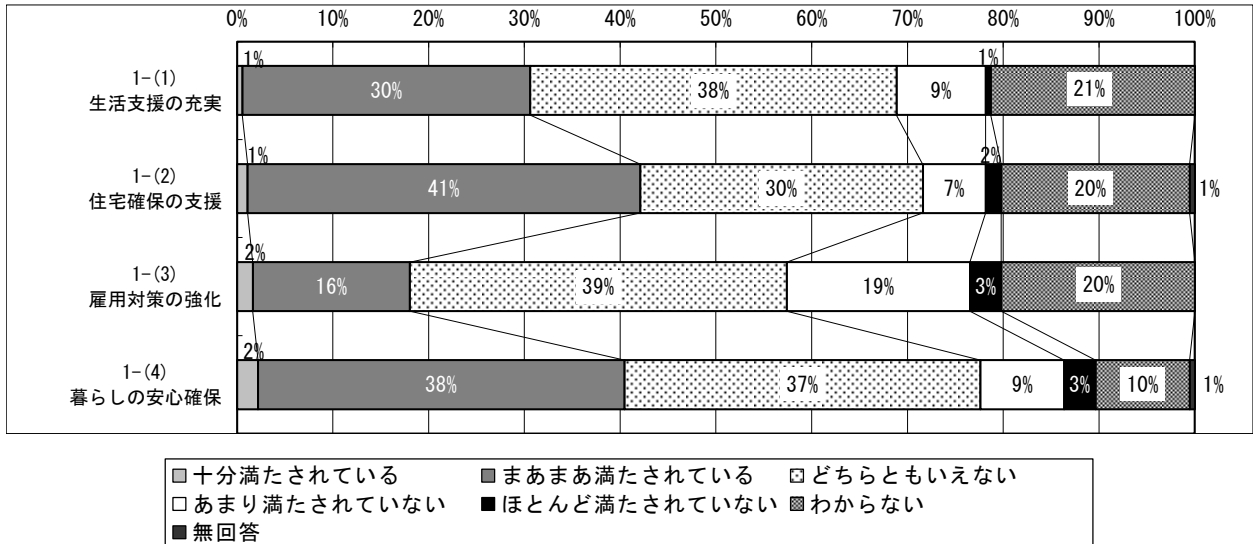
3. アンケート結果（復興計画）

（1）被災者の生活再建

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「住宅確保の支援」で42%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「暮らしの安心確保」となっています。

図 被災者の生活再建に関する分野での現状評価



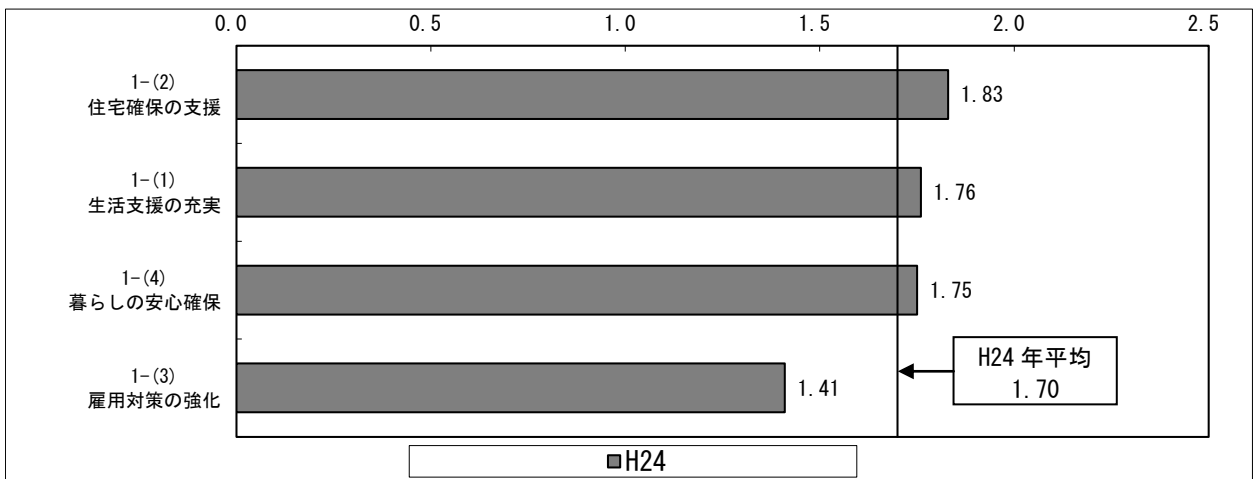
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

被災者の生活再建に関する分野での満足度得点の平均値は1.70点となっています。

「住宅確保の支援」などが平均を上回っています。一方、雇用に関する分野が平均値以下となっています。

図 被災者の生活再建に関する分野での満足度得点

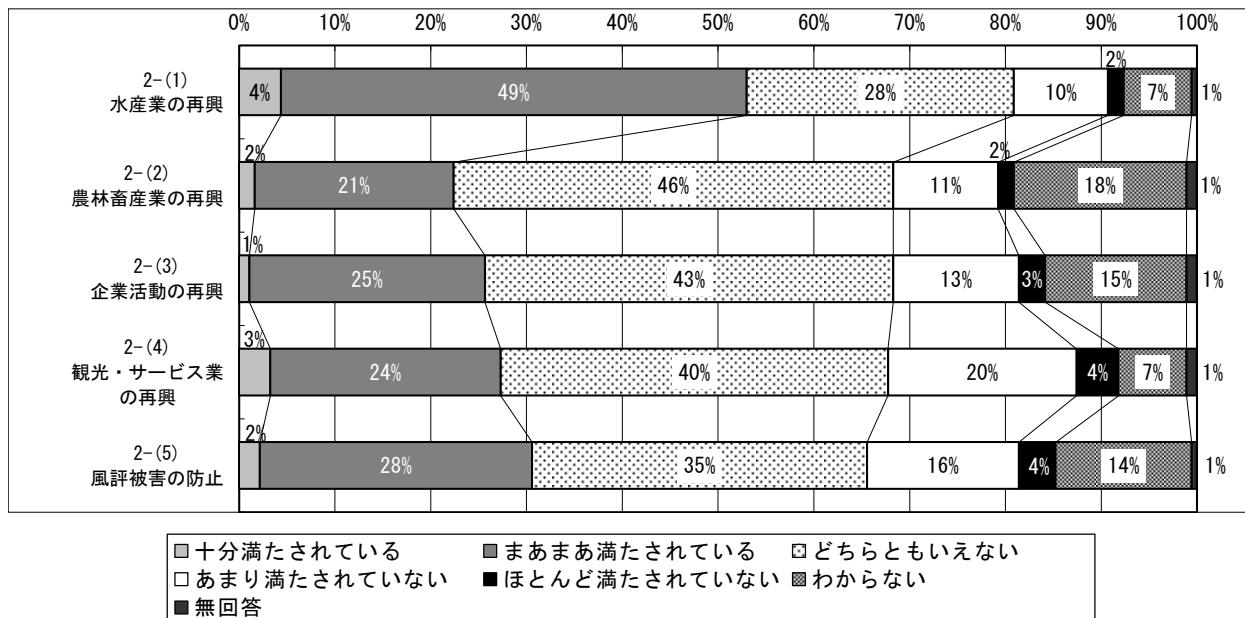


(2) 地域経済の再興

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「水産業の再興」で53%となっています。

図 地域経済の再興に関する分野での現状評価



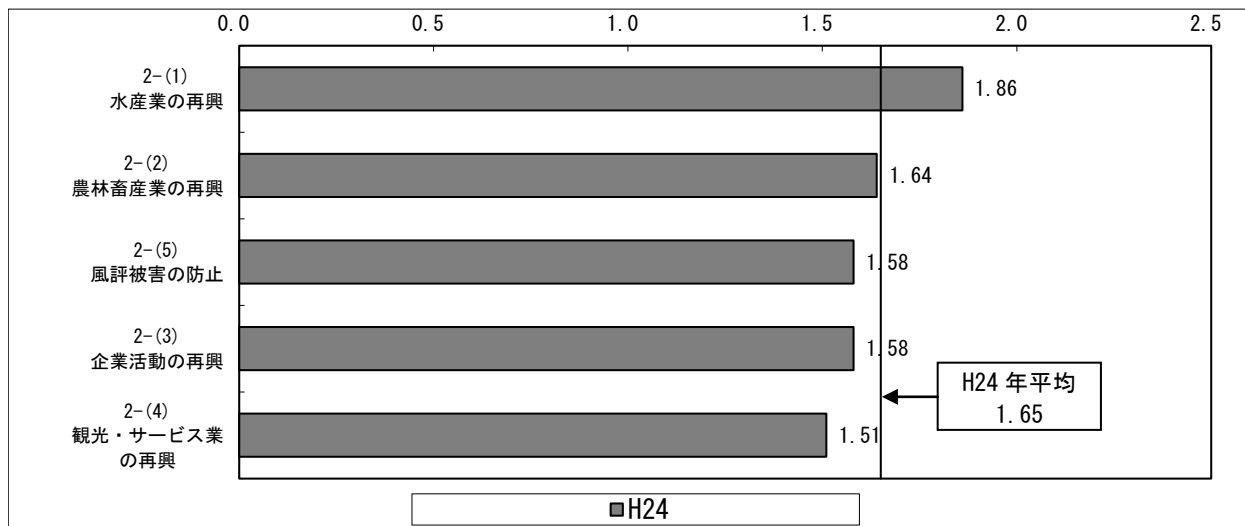
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

地域経済の再興に関する分野での満足度得点の平均値は1.65点となっています。

「水産業の再興」が平均を上回っています。一方、観光・サービス業や企業活動の再興、風評被害の防止に関する分野が平均値以下になっています。

図 地域経済の再興に関する分野での満足度得点

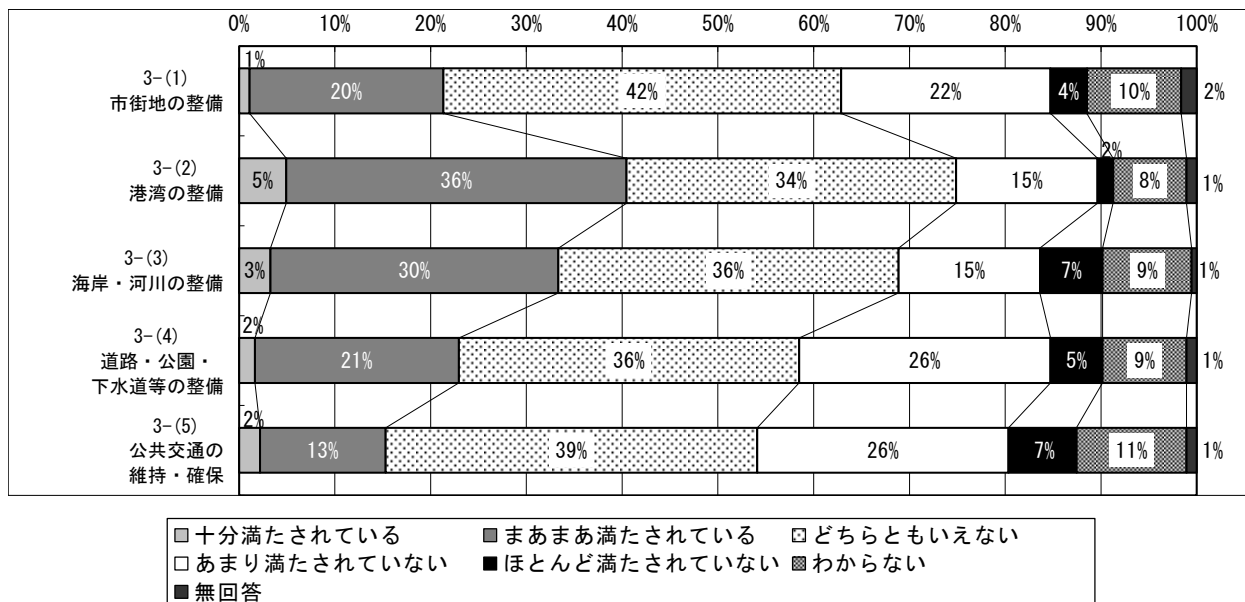


(3) 都市基盤の再建

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「港湾の整備」で41%となっています。

図 都市基盤の再建に関する分野での現状評価



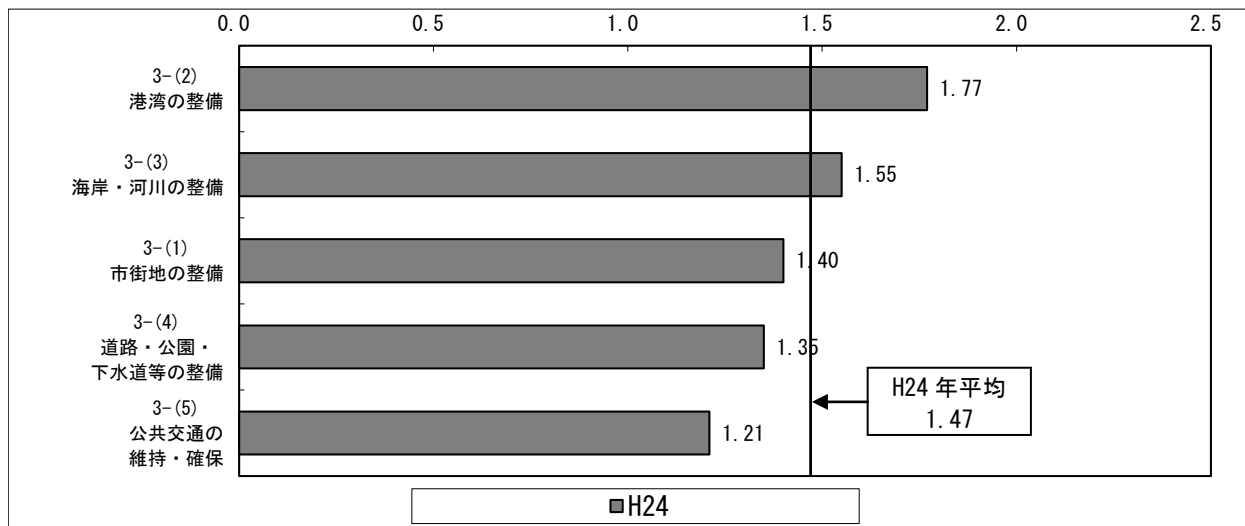
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

都市基盤の再建に関する分野での満足度得点の平均値は1.47点となっています。

「港湾の整備」や「海岸・河川の整備」が平均を上回っています。一方、公共交通や道路・公園・市街地の整備に関する分野が平均値以下になっています。

図 都市基盤の再建に関する分野での満足度得点

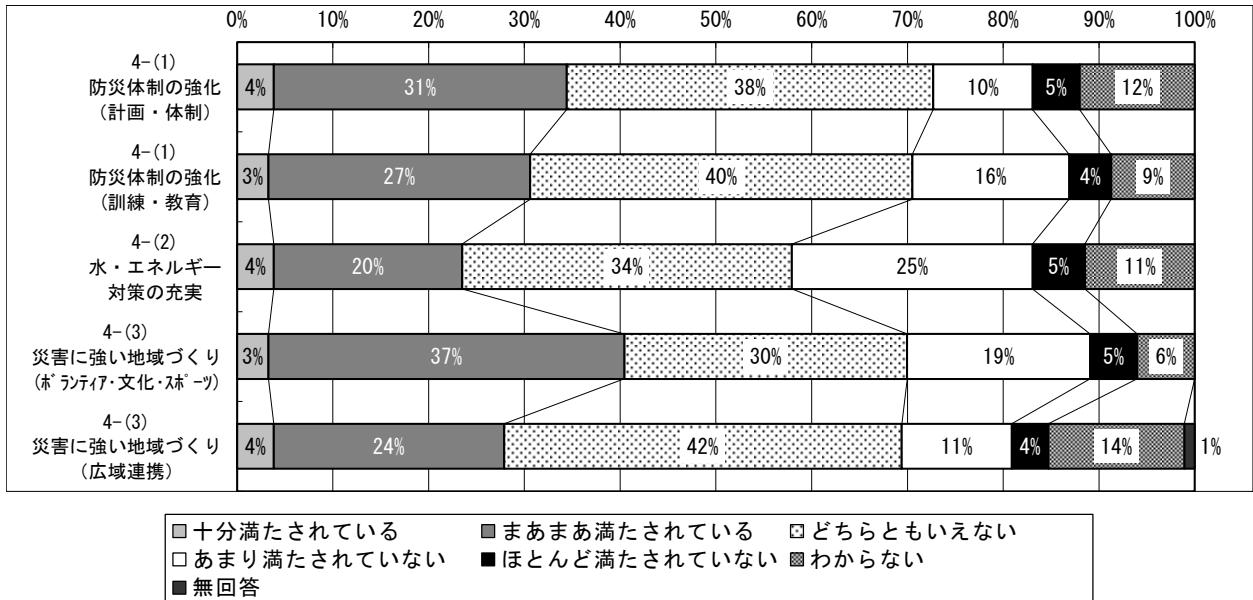


(4) 防災力の強化

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「災害に強い地域づくり（ボランティア・文化・スポーツ）」で40%となっています。

図 防災力の強化に関する分野での現状評価



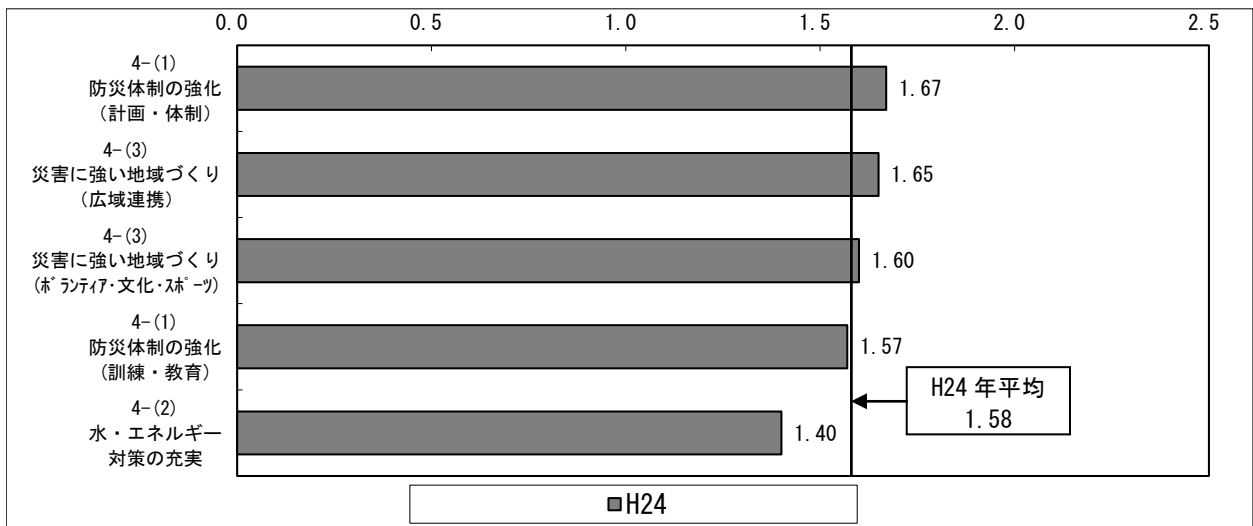
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

防災力の強化に関する分野での満足度得点の平均値は1.58点となっています。

「防災体制の強化（計画・体制）」や「災害に強い地域づくり（広域連携、ボランティア・文化・スポーツ）」が平均を上回っています。一方、水・エネルギー対策に関する分野が平均値以下となっています。

図 防災力の強化に関する分野での満足度得点



4. 自由意見

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|-----------------------|---------|--|
| 住民自治 | 町内会・自治会 | 隣組の復活施策を求めます。 部落、集落単位で互助の精神を生かすため町内活動の活性化を求めます。個人情報や楯に役所でさえも隣に誰が住んでいるか明かさない。ひとたび避難を要するような自然災害が起きると、隣とのコミュニティーが無いから個々の判断で逃げるしか無い。非常時に民生委員は構ってられない事態の自然災害が多くなってきた。特に役所は遠くにあり、先の関東地方を襲った竜巻には時間が無い。ゲリラ雨、先の震災のような場面では隣組しか頼りは無い。 |
| 自治体経営の強化 | 自治体経営 | 何をやるにでも、情報が足りないと思います。HPでも、広告でも…。もっともっと八戸の良さをアピールした方が良いかと。 |
| | | 市職員と民間の給与の格差をなくし固定資産税など市税を安くするべき。 |
| | | 実施していることへのPRが不足しているのでは？市民は市が何を計画して、何を実施中であるかが見えません。 |
| | | 行政は業務の効率化を行い、定員を削減するべき。そして給与は民間の平均額に近づけるべき。公務員は公僕という意識を持って自らを律すべき。(議員も同様) |
| | | 市民目線の行政を心がけていただきたい。公人の人員削減はサービス低下に直結しています。同じ予算で増員し必要なサービスを提供していただきたい。 |
| | | 税の公正化(基準の適正がやや不公平) |
| | | 人件費の削減のため市職員を減らす。 |
| | | 「わからない」という答えが多い。行政が何をどのようにしているのか、分からない。情報がない、伝わってこない。発信力を高めてはどうですか？行政側の自己満足で終了しているのではありませんか？ |
| | | 自立できる地方づくりをしていって欲しい。国の交付金ばかり当てにしていると、ろくな事にならない。 |
| | | 指定管理者施設の再検討 八戸市内の指定管理者施設の実態はどうか。古くなった建物。施設内設備・展示物の老朽化。その施設にふさわしい専門知識を持つ職員で運営されているかどうか。市からの委託事業の内容が陳腐化していないかどうか。指定管理者側の自主事業のあるべき姿。など多角的に検証する市民側からの専門的な人材による検証組織が必要ではないか。担当部署での検討も手薄になってはいないか。指定管理者の申請内容と事業報告書は、適正であるかどうか。 行政は市民から苦情が出ない＝満足していると思わず、より踏み込んだ各種政策の見直し、改善等をはかるべき。 |
| 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画 | 学校教育 | 設問9、10、11、12については地域・学校間の格差が大きい。積極的に推進している所は評価できるが、他は問題。 |
| | 社会教育 | 学校教育以外の教育・文化活動に立ち遅れが目立つ |
| | 文化 | テレビ局には俳句の発表コースは二つもあるが、短歌についてはゼロです！以前から主張しているが、八戸を短歌の市として発信するよう！報道機関、市役所等で早急に「検討」して欲しい！ |
| 産業・雇用 | スポーツ | 屋内スケート場、なんとか確実なものにし、いずれは国際大会クラスが開催出来る事を希望します!! |
| | 観光 | 8月の三社大祭の宣伝露出をもっと高める→観光客の増 例えばビデオを各自治体に送り、ロビー等で流してもらう。 旅行者が降り立って、タクシーに乗り、観光案内を依頼しても案内先があまりにもとぼしい。(タクシー運転手の実感) 設問39 観光面他のPRの仕方に、もうひと工夫必要 |

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|---|--|--|
| 産業・雇用 | 観光 | 八戸港の知名度はまだまだではないでしょうか。しかも、地元の間人ですら八戸港の素晴らしさを、そもそも認識していないのではないのでしょうか。私自身も3年前遊覧船に乗って、海側から港湾施設の充実ぶりを見て、びっくりもし、これは自慢できるぞと気づきました。産業観光という分野がありますが、水産加工場などの産業観光資源の活用はもちろんのこと、遊覧船などで海側から八戸港を見せるのも立派な産業観光ではないのでしょうか。むしろこちらを優先・強化する方が正解かもしれません。併行して、物流拠点港として、自信を持って企業や自治体にセールス活動を行うべきだと思います。 |
| | | まちづくりについては、やはり他県、地域より人が来てもらわなければならないと思うのですが、特別な取り組みがなされているとは感じません。例えば、蕪島や種差海岸まで観光バスが入れるよう道路を拡幅するとか、サービス業の社員等の接客マナーを良くするとか新しい取り組みが必要と思われます。 |
| | | なんで八戸駅にイタコなのでしょう？やろうとしている意図が分かりません。「イタコ」は”おそれ山”だからこそイタコだと思うのですが…。 |
| | 雇用 | 雇用についての不安があり、生活が安定していない。新規雇用創出に行政からの支援を高めていただきたい。 |
| | | 若年層の雇用の進化（多くの青少年が遊んでいる） |
| | | 雇用の充実をお願いしたいです。特に若い人のを！ |
| | | 先日、何回か職安に行く機会があり、本当に多くの者が職探しをしており、仕事を見つける大変さを感じさせられました。八戸でもっと雇用の創出ができないのでしょうか。 |
| | | 様々な施策を実施し、着実に成果が上がってきていると思いますが、雇用面での充実により一層尽力していただきたいです。 |
| | | 雇用の場を拡大する施策を積極的にすすめ、雇用者の収入増を図り、少子化に歯止めをかける街作りに力を入れて欲しい。 |
| | | 魅力ある街づくりと雇用を増やさないと県外に人々が流出してしまうので速やかに対策を考えて欲しい。いろんな建物を建てる前に市民確保じゃないですか。 |
| 若い人たちの雇用の場がもっと広がる事を御検討して頂きたい。企業の誘致はもちろんの事、既存の企業も頑張れる様、行政としても支援制度を充実して頂きたい。 | | |
| 観光、新事業（特産品）も頑張りを見せる中、産業雇用関係が遅れているのが気にかかる所です。もう少し時間が必要と思う。ただし、全体的にとらえて、被災地の中で八戸市の復興は目を見張るものがあると感じます。 | | |
| はっちのおかげで、中心街も賑やかになってきて嬉しいです。あとは雇用面を何とかお願い致します。 | | |
| 農林・水産業 | 財政難の時代に復興という大きな問題を抱え、大変な時ではありますが、海から開けた八戸ですので、今後、また水産都市八戸！と言う時が来る様、八戸市に期待致します。 | |
| 商業・中心市街地活性化 | 八戸を代表するトップセールスの設置（チームでも可）→八戸をもっと知ってもらう。 | |
| | 防災力の強化重視のまちづくりと、中心街を活性化してほしい。中心街と市民病院間のバスを増やしてほしい。 | |
| | ①貿易振興も含めた諸産業活動の活性化促進②継続的雇用の創出・確保③人口減・少子高齢化に対応したニーズを捉えたまちづくり④中心市街地に（大規模）複合商業施設の建設等を実現出来ればと考えます。特に景気回復・雇用環境の改善が喫緊課題と思います。高齢者が生活をして楽しさ・生き甲斐を実感できるまちづくりも必要でしょう。例えば、孤立しがちな高齢者が気軽に、「食事」「休憩」「交流」が可能な店舗や施設があればと思っています。各年齢層間での積極的交流を図れる場所をつくる事も、有意義なまちづくりになるでしょう。 | |

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|-------------------|---|--|
| 産業・雇用 | 商業・中心市街地活性化 | 中心街に緑に囲まれた水辺の空間があっても良いと思う。再度、出かけたくなる様な憩える空間、手弁当や本でも持って。 |
| | | 中心街の活性化に特化せず、全体を見て必要な地域の活性化を行った方が良い。場合によっては既存の中心街の活性化に固執するのではなく、開発しやすい地域に中心街を移すという大胆な発想も必要ではないか。 |
| | | 街づくりには人が集まり易い環境を作ることが大切かと思えます。そのためには、おいらせ町のイオンモール、沼館のピアドゥ、シンフォニープラザ、江陽のラピア、中心街では「はっち」等であろうと思えます。それで「はっち」を除くと大型の無料駐車場が備わっております。地方都市ではまだまだ車がないと用が足せないのが現状かと思えます。また、車があることによって行動範囲が広がるというメリットもあります。現在の中心街を見るに無料駐車場を作るのは反対している様ですが、これでは益々人が集まらなくなり、正にデフレスパイラルに陥っていると云っても過言ではないと思えます。勿論実行するためには簡単なことではないと思えますが、実行しなければ前に進みません。それで私の提案ですが、現在の長根公園の大型施設、例えば、野球場、屋内スケート場、体育館等を郊外に移し、跡地にバスセンター、美術館、(芸術パーク?)無料駐車場を配置したら如何かと思う次第です。 |
| | | 公共交通が中心街に向かっている八戸の現状から、これから高齢者が足として利用するバスを考えた時、八戸に中心街がなくなるとは成り立たない。「まちに来る」「まちに行く」昔から八戸市民が使ったことばが復活するようなまちづくりを！！ |
| | | 市の中心街の繁栄の為には近くに無料の駐車場がなければ無理だと思えます。 |
| | | 中心街への更なる支援策(空店舗活用の助成、店舗のリニューアル、増改築への補助金等を活用して思い切った財政支援)が出来ないか?所有者は解体して駐車場にするのが関の山という状態です。 |
| | | 中心街の充実! |
| | | 中心街でシャッターが閉まっている建物についてもう少し積極的に取り組んで欲しい。大変かと思えますが。 |
| 健康・福祉・介護・子育て・社会保障 | 高齢者・障がい者 | 障がい者、高齢者の力の取り込みと有効的活用 |
| | 子育て | 子育てサロン等にも参加経験がありますが“機会を与えてやっている”という態度の主催者の存在など、支援する側のセミナー等も必要ではないのかと思う事がありました。ボランティアでやって下さっているのが有り難いのですが、“仕方なしに…”という気持ちでは支援される側も困ります。また仕事を持つ母親や、介護を必要とする家族がいる者にとって短時間勤務等の制度を利用したくても快く承諾してもらえなかったり認めない企業も多いように思います。もっと制度の周知等呼びかけを行ってほしいと思えます。 |
| | | 子どもの健全育成に不安がある。生活保護家庭や母子、父子家庭の増える中、八戸ではどのように子ども達を育てていこうとするか目標が見られない。教育と福祉との連携があまりにも薄い。若い世代が子育てしやすい都市づくりが今後の八戸を決めると思う。 |
| | 社会保障 | 私の周りには公務員を退職し、多額の退職金と年金を受け取る人がいる一方、長年働いて来ても国民年金しか掛けていないため苦しい生活を強いられている人がいます。制度的に問題があるのではないのでしょうか。 |
| | 医療 | 市民病院の利用の向上(他市町村民の利用より市民の利用の向上) |
| | | 市民病院の院内投薬(高齢者の一番の願い) |
| | 岩手県は県立病院が各地域にあるように思うのですが、ドクターヘリを使うのに八戸市長は岩手県のためにおっしゃっていたように思います。なんかおかしいなあと思うのですが…(??) | |

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|--|---------|---|
| 環境・リサイクル・エネルギー | 環境 | 燃やせるゴミ用ゴミ袋（黄色）が当時に比べて薄くなってきたと思う。破れやすくなって2枚使う事もあり。1枚で足りる様な厚さにして欲しい。先立って十和田のスーパーに立ち寄ったところ指定ゴミ袋をその日安く提供していたが、八戸は年に数回でもそのような企画をする気はないものか。 |
| | | ゴミのポイ捨てが道路や公園などでまだまだ多い。子どものころからの環境・美化の教育をしっかりと行って意識を根付かせる方法を取ってもらいたい。 |
| | | いつになったら市民から取っている税金の一部、黄色ゴミ袋がなくなるのでしょうか？ |
| | 資源リサイクル | 再生紙使用は本当のエコであるかの検証は？ |
| | | あるスーパーで新聞・雑誌などのリサイクルできるものを収集して、ポイントにし、お買い物券にできるところがありますが、とてもいい事だと思います。年配の方もたくさん利用されています。いろんなスーパーで収集できるようになればいいんですが…。 |
| | エネルギー | 太陽光発電を付けた場合、市の補助金が抽選だったのは正直残念です。税金を納めているのに…と思います。 |
| メガソーラー誘致は大賛成。市長はじめ、関係の方に強く称賛をおおくりします。 | | |
| コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通 | 居住環境 | 公民館の向いで、小学校の通学路に廃屋が見受けられます。建物の管理者へ、指導があるべきと思います。 |
| | | 設問 82 下水道受益者策定の仕方が不明瞭で”取られ”感が強い。 |
| | | 街に公園があると、お弁当を広げる、くつろぐ、まちあわせ、リフレッシュ等様々なメリットが生まれるのではないのでしょうか。（三八城公園があるのは承知しています。） |
| | | 八戸はくみ取り料が高いのは何故ですか？ |
| | 景観整備 | てんでんバラバラな統一されない街づくりだけはやめて欲しい。八戸の歴史を感じさせる様なレトロな建物がもっとあっても良いのでは。公共の建物を建てるにあたって考慮して欲しい。近代的な函物（ハコモノ）であれば満足度が増すというものではないはず。 |
| | | 中心街他、たて看板を規制してほしい。 |
| | 公共施設 | 八戸駅構内がやたらに何もなくて、おそまつ、かつさみしい。（新青森駅、盛岡駅等の商店等、商売を手本に活発化して頂きたい。） |
| | | はっちへ行くのに駐車場代がかかると気軽に行けない。まちへ行くのも一年に2、3回しか行かない。バスも不便であり乗らない。 |
| | | 設問 35、はっちが徐々にではあるが市民に認知されはじめ、利用されはじめているので、一層の新企画が欲しい。 |
| | | 「はっち」の無料化の実現（これは多くの人の希望） |
| 防波堤の修復早くして下さい。高波がくるとフェリーが接岸できず大変不便です。 | | |
| 先日南郷の道の駅に行き、隣接する運動場、プール等をみて大変整備されていて良いと思いました。八戸市は長根がありますが、まとまりがないと言うか散歩や、楽しみ、見る所がないように思うので、スケート場がもし、実現するのであれば総合運動公園的な視野で作ってもらえば、八戸の自慢できる所になるのですが・・・ | | |
| 休日に「気軽に」「のびのびと」遊べる公共施設が無い。公園の遊具がほとんどない公園も多くなりましたが、安全性や予算重視だけではなく、子育て支援という視点からも公園その他の施設の整備を進めて頂きたいと思います。 | | |
| 八戸市のまちづくりとは少々違うかもしれませんが、5月22日、本の返却の為、市図書館に行ったところ図書館前の駐車場は満車、横にある広い駐車場も満車の為、ロープを張ろうとしていた。多分、隣の駐車場で何か行事が行われているためと思われるが…図書館の駐車場でもあるので、公民館の行事で来館する人は近くの方だと思いますので、遠方から図書館を利用する者のために、もう少し配慮して頂きたい。 | | |

| 分野 | 項目 | 自由意見 | |
|----------------------|------|--|--|
| コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通 | 公共施設 | スポーツ関係の公式な試合が観覧できる施設や、コンサートが見られるようなスタジアムが一つで良いからあれば良い。子どもたちに本物を見せてあげたい。 | |
| | | 「はっち」のホールに長椅子もあるといいですね。バスの時間待ちで行くことが多いですが、何かリラックスできない雰囲気があります。気軽に利用できる場所であって欲しいと思います。 | |
| | | はっちの利用度はどうなのか？今後に期待です。 | |
| | | ～小さな疑問点～ 八戸市福祉公民館に関係ない団体が事務所として使用しているのはなぜか。 | |
| | 交通安全 | (79 の設問) 歩行者としては歩道がデコボコだったり狭かったりするところが多く、高齢者にはつまずきやすいと思います。車道を歩くこともあります。特に雪の日の除雪車が通った後の歩道は、歩行者にはとても歩きにくい状態になっています。 自転車に乗る事が多いのですが、歩道も車道もどちらも走りにくいと思います。歩道のデコボコや不規則な幅。車道も車と自転車がお互い安心して走れないように思います。 | |
| | | 交通安全 | 皆々がマイカーを持っているわけではない。南郷区へ出かけたくともバスの便利性に欠けている。利用客が少ないルートは何も大型バスでなくても良いと思う。中型バスでも良いのでは？使い分けする事も必要なのでは。 私のように車を持たない者は、昨年秋から試験的に行われているバス料金の導入により、とても外出しやすくなりました。 八戸市は北日本唯一の観光都市ですが、道路事情について意見を申し上げます。 例1. 観光地までの道路が狭い 市街地から蕪島～種差等の目的地まで、メインとなる道路がない。いわゆる観光道路と呼ぶような整備された道路が無い。観光バスの大型化により、安全運行上4車線又は幅の広い2車線に拡張するよう提案します。 例2. 市内のあちこちの道路が補修の関係上、凹凸がひどくお尻が痛くなります。大雨の日は雨水が飛び散り、歩行者に迷惑をかけることがあります。これは部分補修のため、レベルを使わず工事を完成させたからだだと思います。関係者は、雨降りの日に市内の道路を巡回(乗用車・ジープ除く)して頂き状況を確認し、今後の補修工事の参考にして頂きたい。 弱者に身をおいたまちづくりをして欲しい。身近な足元から整備をすすめ、新しい道路等も良いが、今までの道をどうしたら良いか考えるべきではないでしょうか。 側溝の段差があり、歩行(電動車)に困難な場所が多くある。 |
| | 防災 | 防災 | 中心市街地に、消防署に代わる防災拠点、ヘリポート、コミュニティ施設の必要を感じる。医薬品、水、食料の備えも必要と思う。 全市民参加の大規模防災訓練の実施→一人ひとりの危機管理の意識と連帯感 沿岸地域の津波対策とその地域に住む人々、又会社、事業所等にもそれぞれ意識して、対策を積極的に持って頂きたい。(地域に住する者の使命) 現行の政策にはほぼ満足しています。防災について言えば、市川周辺の住民が合法的に(大震災の時は基地司令の独断(英断)でした)陸・海自の施設に避難できるような市、県とともに防衛省と協定を結ぶべき必要を感じました。 震災で破損した防波堤を作り直しているが、前とまったく同じ形状で作っているのは何故なのか？高くするなり、厚くするなど改良が必要ではないのか？ 津波が川をかけあがってきて時の為に、川岸の整備は今後どのように進めて被害減少対策を取るのですか？ すべてにおいて“安全”が優先されると考える。安全なくして、まちづくりもないので、その観点でものごとを進めていって頂きたい。また、これまでは効率や経済を優先させてきた部分が大きいので、何が必要かをよく考え、震災以降は欲しいものにお金をかけるのではなく、必要なものに金(予算)をかけて頂きたい。 |

| 分野 | 項目 | 自由意見 | | |
|----------------------|----|---|--|--|
| コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通 | 防災 | <p>去年の台風の影響で、馬淵川が溢れたにも関わらず、対策が市や県でどっちつかずになっており、今だに議論がありません。安心して暮らせるまちづくりをお願いします。</p> <p>蕪島近辺。きれいなトイレを作る前に、次の地震、津波の逃げ道を作る方が先では？安全あつての観光では？</p> <p>市長は「災害に強いまち作りの推進」を言っておられますが、3. 11 大震災の被害、教訓が生かされていません。</p> <p>災害時の非常用発電装置は公民館にだけ配備されており、その他の指定避難所には配備されていません。</p> <p>平成 22 年 2 月策定の避難所運営マニュアルの 3. 11 の教訓により見直しを行うとの事ですが、1 年 2 ヶ月経過した今日、まだ発表されていません。防災先進都市に比較して当市の防災力はあまりにもお粗末です。行政も議員も不勉強です。</p> <p>安心・安全の街造りとして、地震、津波そして大雨、竜巻に対する災害防止の指針を早急に作成し、住民に示して欲しい。</p> <p>原子力災害の安全対策をしっかりとて欲しい。原子力に頼らない指針を早急に作成すべきであろうと思います。</p> <p>「防災の強化」の点では、明確なものが市民へ届いていないと思います。震災より 1 年以上過ぎましたが、市がどの部分に位置していくのか「自分の事は自分達でどうぞ」など言っていられないと思います。明確な責任対応を周知徹底して下さい。それで足りるか足りないかを意見集約して欲しいです。その上で私たち市民はどうしていくか、個人のやるべき事が見えてくると思います。</p> <p>各地域の防災訓練は障がい者は含まれてはならず、また集合地は「車イス」では集合するには障害が多く保護者も介護するのが大変です。障がい者を対象とした訓練をしておく事は大事です。</p> <p>昨年 3 月 11 日の災害を受け、「自分達の地域は自らが守る」という自主防災意識が高まりをみせている。これは良い傾向である。</p> | | |
| | | 防犯 | <p>「よびこみ」と云うのでしょうか。こわいです。八戸の街の夜は、異様だと。中心市街地に居住空間（1階商店、2階以上住居）を！！と何年も言い続けて来ましたが、明るい（ライトで）し、こわいしで、中秋の名月をながめに、「ちょっとお外へ…」も出来ない場所に住みたくありませんね。何かされたわけではありませんが…。でもあれって違法じゃないんですか。</p> | |
| | | 行政 | まちづくり | <p>震災がきっかけとなり、八戸で暮らす上で何が足りなくて何が必要なのか見えてきた部分がある。まだまだ、被害のあった部分の復旧が先だと思うが、今後の町作り、人作りを多角的に考えていく必要がある。</p> <p>幸い 3 月 11 日の震災は死者こそ少なかったが被害は甚大だ。次にはどんな災害が襲ってくるか誰にも予測できない。生命財産を守る義務がある国家、役所の責任で住民が安心して生活できる環境を創らなければならない義務がある。先住民（是川遺跡からの教え）の知恵と生きる技を残している。低地の 20～30 年以上の家屋は行政指導で高地移転を勧告、指導する義務がある。低家賃の公共宿舎や安全な住宅地の供給施策を求め。長根スケートリンクを創る予定があったら安心安全な街づくりを住民に提供しては如何でしょうか。年々人口減少傾向にあり、低地にスーパーや商業施設誘導策は、来る世代感覚に馴染まない。</p> <p>都市計画には専門民間業者（現場の第一人者）を参画させるべき。（利害関係者として排除してはいけない。）そうしないとい計画は策定できない。</p> <p>八戸市の市街化調整区域を、市街地ラインから 300m～500mの範囲内にある土地に住宅を建てられるような見直しはできないもののでしょうか？</p> <p>若い人たちが役所に頼らず街づくりに頑張っているようです。それらの人々の声を拾いあげて未来の八戸を作っていくって欲しいと思います。</p> |

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|----|-------|--|
| 行政 | まちづくり | <p>JR 本八戸周辺整備の件、今どのような進ちょく状態なのか？知りたい処です。新聞の構想図では大まかな事しか知りませんが、まったく新規の街作りが始まる様に思われます。「老若男女の集う街」と有りますが殆んど新規に一からの街作り、ならば折角ですから日本全国&場合によっては世界各地の視察等も取り入れ「東京スカイツリー・金沢・鎌倉・京都」と多少飛躍気味だが。その様な人気ある施設等、八戸なら行ってみたいと思わせる楽しい観光性の有る街並みを叡智をもって構築をして頂きたい。</p> <p>又、旧道路は「コミュニティ道路」と有るが、集客用に此処を全部「駐車場」としてはどうでしょう。勿論人も歩ける道として整備する。料金も無料又は1時間 50 円等も。八戸市は特徴の少ない街、此のチャンスを 100%生かして何とか立派な「街」を構築して頂きたい。その進捗状況は其の都度「広報」にも掲載して欲しい。商店の羅列ならば、店同士の全部の隣から隣へずーっと移動できる店内の通路用のドアを設ける前部に統一して、閉店時には勿論お互い閉める。時には店の都合にて閉める。言わばアーケードの店内版、黒石の小店通りを発展させたみたいなの、雨季や冬季に便利と回遊して貰える商機と利便性。</p> <p>八戸のまちづくりは特定の人々の趣味や利益に偏っている感が否めません。早く情報を事前に（全て決まってしまう前に）公開し、多くの有能な人々の意見を集められる仕組み作りが重要だと思います。</p> <p>「八戸ニュータウン開発の再検討」 八戸ニュータウンの開発は、二重構造で開発が進められていたのではないか？ 地権者に土地提供分を割り振ったものと機構が一般住民に販売したものと二重構造の問題である。指摘するのは地権者に割り振った土地。長期にわたる不況により土地の販売が進まず、アパートなどの賃貸住宅の建設と乱立である。開発の目的は八戸のモデル地区となるような街づくりのはずが、無指導による賃貸住宅の増加のために、街の様相が一変していることが分かる。これでは、「モデル的な街づくり」に魅力を求め、機構から土地を求めた市民は、いささか騙されたという意識を持つのは当然である。 今でも西側方面の土地の販売が進まず、街づくりは根幹のところまでストップしているのと同然。また街づくりの根幹の一つである公共交通機関の不便。市営バスの運行は日中、一時間に一本しかなく、八戸駅方面への利用は距離的に近いにもかかわらず、乗り換えと遠周りによる時間のロス。南部バスの八戸駅方面の日中・夜間運行が全くないからである。 こうした街づくりの根幹的な問題の例をみると、広大な利用されていない土地の見直しなど総合的に再検討すべき時期ではないか。住民の高齢化が相当進んでいることも検討材料としておく。他県での開発で、〇〇団地と称する街が衰退しているケースが年々増えているからであり、八戸市でも是川団地のような街づくりをしてはならない例である。</p> |
| | 住民参加 | <p>若い人（に限らないのですが）の意識、興味の低さが気になります。もっと八戸愛を強くするような事を考えていけたら良いのですが…（自分を含めてですが）</p> <p>市長が市長室から出て市民とうち解けて話しあっているニュースを拝見するに当たり、とても良いことと思っている。開かれた市庁になったと思う。市民の声に耳を傾けじかに接する場をもっと設けてほしい。実行も期待しています。</p> <p>街づくりに対する一般民の提言（具体的に生かされていない）</p> <p>「まちづくり」はその住民にとって、最も身近な問題です。もっと積極的に、意見を聞く機会を設けるとかもう少し詳しく、突っ込んだアンケートをお願いします。</p> |

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|-----|---------------|---|
| 行政 | 地域間交流の推進 | <p>八戸圏域内外との連携強化の情報発信が一層必要。</p> <p>本州の北端貧しい青森県と云われますが、東は太平洋。北はむつ湾。西は日本海、世界自然遺産、白神山地、日本一の県と思います。</p> <p>何度も申し上げておりますが、津軽地区と南部地区の交流が少ない。私は八戸小学校、S12～15年夏以降S19年3月まで青森師範附属小に入っておりました。母校の同期会の世話役を八戸は40年、附小は20年以上（現在も）しております。津軽の皆は南部を少し下に見ます。百石出身知事も当選後は90%以上西向きです。青森県の飛躍は八戸に有り。責任者はもっと、もっと、おいらせ町から以西の指導者と交流を持つべきである。</p> |
| その他 | アンケート | <p>相対的評価が困難（対比対象不明確）なため、感覚的評価にならざるを得ません。大震災後の復興途上にあるため八戸の持つ実力と、特別事態の経過的評価の混合にせざるを得ません。</p> <p>復興計画についても従来のアンケートとあまり差異はなく、回答しづらかったです。（良いとも悪いとも言えず普通のものという意味です。）</p> <p>わかりにくい設問と内容でした。</p> <p>返信封筒はのり付きのものにして欲しいです。</p> <p>設問に（内容ならびに問い方）に問題があるように思います。</p> |
| | その他 意見・要望等 | <p>八戸市の震災によるガレキ処理の受入れ表明は市民としてもホコりに思う。特に反対運動も起きない市民性一困った時はお互い様という考えは他県にも見習ってもらいたい。</p> <p>今の時期での評価は早いと思いながら書きました。長期に努力する事が大切であると考えておりますので、市長が先に立って頑張ってください。</p> <p>震災直後は、ミエ（？）をはって、「うちは大丈夫ですから！」って言っていると思いましたが、（失礼）、時間が立ってみると、あの時の市長の判断はすごかったなって思います。そのおかげで拠点になり、人も物もスムーズに動きましたもんね。これからも「判断」を注目し、長くみつめていきますので……。すべてに関してPRへたはどうかしないと……。あとゴミ、町内会……。</p> <p>震災した地域であります、その後の対応や復旧に向けての取り組み、ガレキの受け入れなど、他の見本となるような動きが全体的に感じられます。しかしまだ、困っている事、満たされていない事が多いのも事実です。どのような事が不足しているのか意見を上げてくれるような制度も必要と思います。仕事、子育て、老後など、誰もが生きがいを持って、安心して生活できる環境をつくってほしいと思います。他の市町村から注目され、この地にいてみたい、住んでみたいと思うような街づくりを期待しています。</p> <p>大阪市長が、「大阪都」をつくり、国の体制を新しく変えようとしている。道州制は八戸市にとり、区割りについて従来の東北州や三陸復興国立公園（仮）を中心とした「太平洋州」など、市民の意向を把握しておく必要がある。統治機構の選択は国民にあり、先進国家の形成へ民主主義のシステムが問われていよう。</p> <p>震災後のガレキ片付け等はスピーディで大変良かったです。</p> <p>八戸市が今回の大震災を受けて、真摯に対策に取り組んでいることに心より敬意を表します。</p> <p>被災現場には多様な現実があふれていたと聞きます。ぜひ、生の訴えをよくお聞きになり、今後の政策に生かしていただくよう期待します。また、原発政策のように、深刻な対立を生む問題については「熟議民主主義」の手法を試みるのも有効ではないかと、小生は考えます。その前段階として、小生は「哲学カフェ」を実践していくつもりです。</p> <p>総合計画に記載されている施策や事業は、今後八戸市の発展のために欠かせないものと思いますので、成果達成のためにより一層推進に力を入れてほしいと思います。</p> |

| 分野 | 項目 | 自由意見 |
|-----|---------------|---|
| その他 | その他 意見・要望等 | <p>産業雇用について少し厳しい評価をしましたが、震災復興の面でこれから具体化するものと期待しています。</p> <p>ただ、核となる政策が分かりにくく難しいので、食料、エネルギーをもっと明確に内外にアピールすべきと思います。</p> <p>各部内でいろいろ取り組んでいるようですので、良い成果が出るよう期待しております。</p> <p>行政はものすごく頑張っていると感じます。 人が育っていくと良いと思います。(更に、ですが)</p> <p>市行事などで幼稚園、保育所の子どもたちが参加するイベント、祭りなど、子どもたちの着替え、休む場所などを用意しておくべきだと思います。関係者だけテント・建物の中に入って、イベントを進めている時があります。まつり、イベントに参加する小さな子どもたち、幼稚園、保育所の子どもたちを屋根のついた所で、着替えさせて下さい。</p> <p>もっと身近にありますよ。だから、話し合う必要があると考えます。モニターの人達と意見交換の場をつくって下さい。「広報はちのへ」で街づくりモニターを募集していましたが、私も応募したいと思います。モニターとみんなで八戸を魅力のある街にしましょ!!東北はどんどん変わっていきます。取り残されますよ。八戸いいのでしょうか?おみやげ、観光、八戸駅の中などもう少しアイデアはありますよ。せんべい汁もいいけどまだまだアイデアありますよ!せんべい汁っていいですか?</p> |

参考. 調査票

あなたは、それぞれの設問項目について、現状をどのように評価しますか。それぞれの設問項目についての現状評価として、あてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|--|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| I 総合計画に関する質問 (No. 1～86) | | | | | | | |
| 住民自治の推進 | | | | | | | |
| 1 市民、事業者および行政が協力し合いながらまちづくりを進めている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 2 防犯・防災活動や環境美化などの地域が自主的に行う地域コミュニティ活動が活発に行われている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 3 ボランティアや市民活動団体（NPO）がまちづくりの担い手として活躍している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 自治体経営の強化 | | | | | | | |
| 4 組織の見直しや適正な定員管理が行われ、効率的な行財政運営が行われている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 5 市民が幅広く行政に参画し、市民の声が活かされた行政サービスが提供されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 6 事務事業の見直しにより、行政サービスの向上と行政コストの削減が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 都市圏の中心都市としての中枢機能が高まるとともに、周辺市町村との連携が強化されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 8 ゆかりの都市間・地域間の交流が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画 | | | | | | | |
| 9 子どもたちの体験学習が活発に行われている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 10 自由に学ぶことができる多様な学習機会が提供されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 11 幼稚園・保育所（園）・児童館・小学校・家庭・地域の連携により就学前の教育環境が充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 12 義務教育課程において基礎・基本を身に付けるとともに、豊かな心と健やかな体の育成が行われている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|--|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 13 経済的な理由に妨げられることなく、高校・大学等の平等な就学機会を確保できている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 14 日常生活のなかで広く学びの場を持つことができている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 15 学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組んでいる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 16 芸術・文化の鑑賞機会や活動機会など、芸術・文化に親しむ機会が充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 17 個性豊かな伝統文化を後世に伝えるための後継者が育っている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 18 市民が気軽にスポーツに親しむ環境が整っている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 19 外国の文化・歴史・言語等の学習を通じて、児童・生徒が国際社会に対する理解を深めている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 20 在住外国人にとって、暮らしやすい環境が整っている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 21 男女が性別による差別的扱いを受けることなく、個人として能力を発揮できる職場環境が形成されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 22 男女平等意識の醸成により、男女それぞれの人権が尊重され、自分らしく生きることができる社会が形成されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 産業・雇用 | | | | | | | |
| 23 産業間の連携により新たな産業が創出され、地域経済の活力が高まっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 24 高度な技術をもった競争力のある企業の立地が進んでいる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 25 新事業・新分野に挑戦するなど意欲的な中小企業が増えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 26 八戸産の農林水産物を活かしたブランド商品が増えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 27 農林業の後継者の育成が行われ、担い手が充実してきている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 28 有機農法や減化学農薬、減化学肥料等が広まり、安心・安全な農産物が提供されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 29 優良農地の保全や、園芸作物の施設整備、適切な森林整備などにより、農林業経営の生産性・効率性が高まっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|---|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 30 漁業経営の改善が進むとともに、後継者となる担い手が育っている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 31 魚市場での衛生設備が充実し、市民に安全・安心な食材が提供されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 32 人工的な岩場の造成や余分な海底土砂の除去などにより漁場の整備が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 33 誘致企業が増え、雇用の増加が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 34 大学や行政等との連携や支援により、新たな事業（ビジネス）や産業をおこしやすくなっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 35 中心街において快適な商業空間が整備されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 36 流通業務の共同化や効率化が図られ、地域の生産・消費を支えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 37 八戸港の知名度の向上により、八戸港の利用が活発化し、物流における拠点性が高まっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 38 八戸港の岸壁や防波堤などの港湾施設が充実し、海外との経済交流が活発になっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 39 PR活動の展開により、八戸市の観光資源の知名度が高まり、首都圏などから八戸市を訪れる人が増えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 40 市民のボランティアによる観光ガイド活動が盛んになっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 41 新たな観光資源の発掘により、八戸ならではの観光資源が充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 42 新規高卒者を含む若年者の就労の場が増えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 43 給与や労働時間といった勤労者の働く環境が改善してきている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 健康・福祉・介護・子育て・社会保障 | | | | | | | |
| 44 市民の健康づくりに対する意識が高まり、健康教室などの健康づくり活動に積極的に参加している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 45 生活習慣病等の予防や早期発見、早期治療の体制が充実し、健康の保持・増進が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|--|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 46 必要なときに必要な医療を受けられている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 47 日頃から家庭や地域において、助け合いや支え合いによる暮らしが根付いている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 48 学校や地域での福祉ボランティアに参加する市民が増えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 49 福祉サービスの利用に関する支援や虐待の防止など、人権の尊重や権利擁護に対する体制が充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 50 保健・医療・福祉等の連携により、地域住民一人ひとりのケースに応じたきめ細かなサービスが提供されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 51 高齢者およびその家族が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 52 高齢者が求める介護サービスが提供されるとともに、介護にあたる家族に対する支援も充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 53 高齢者自身が自らの経験と知識を活かし、積極的に社会参加している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 54 障がい者が必要とする障がい福祉サービスが適正・適切に提供されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 55 障がい者の就労訓練や就労の場が充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 56 障がい者を受け入れる環境が整い、障がい者が地域活動等へ積極的に参加している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 57 子どもを産みたい人が経済的な負担を感じることなく、安心して産み育てることができる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 58 子育て支援サービスが充実しているとともに、地域において子どもたちを見守り、子育てを助け合う環境が充実してきている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 59 労働環境の改善が進み、男女とも働きながら子育てをすることができる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 60 国民健康保険制度が安定的に運営され、保険加入者の健康維持・増進や医療費の適正化が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 61 適正な保険給付により、介護保険制度が堅実に運営されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 62 年金制度に対する市民の理解と認識により、高齢者などが経済的に安定した生活を送っている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|--|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 63 低所得者に対する適正・適切な生活支援が行われ、自立する世帯が増えてきている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 環境・リサイクル・エネルギー | | | | | | | |
| 64 学校や地域における環境教育が充実し、市民の環境意識が高まっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 65 豊かな自然環境が保全され、身近に自然とふれあうことができる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 66 大気、水質、土壌等が良好な状態に保たれている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 67 ごみの減量化や再使用・再生利用等により、ごみの排出量が減少している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 68 ごみの不法投棄の防止対策が強化されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 69 環境・リサイクル関連産業が立地し、八戸市の主要な産業の一つとなっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 70 省エネルギー対策に取り組む企業や市民が増えている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 71 家庭や事業所等において、太陽光発電等の新エネルギーの導入が進んでいる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通 | | | | | | | |
| 72 家庭や地域において、みずからの地域はみずからが守るという安全・安心に関する意識が高まっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 73 防犯・防災のために、地域で見守り助け合うコミュニティが形成されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 74 災害の危険箇所や建築物等の防災対策が進み、災害に強いまちになっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 75 防災訓練を通じて、関係機関が災害時に迅速かつ的確に対処できる体制ができている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 76 市民から信頼される消防・救急体制が整備されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 77 道路や河川、電気、ガス、上下水道、通信などのライフラインの復旧が円滑に実施できる体制が整っている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|--|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 78 警察などの関係機関と地域団体との連携が強化され、「犯罪が起りにくい」「犯罪を起こしにくい」地域になっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 79 安心して歩行でき、自動車も安全で円滑に走行できる。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 80 消費生活において市民の意識が高まり、適切な選択・判断ができています。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 81 地域の特性※に応じた快適でうるおいのある市街地が形成されている。 ※地域の特性とは、例えば「低層の戸建住宅地である」、「住宅以外の商業などが複合する地区である」、「田園や自然に恵まれた地区である」などを指しています。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 82 道路や下水道などの都市基盤が計画的に整備され、市民が安全で快適な生活を送ることができるまちになっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 83 身近に緑にふれることができる都市環境が形成されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 84 身近に親しむことができる水辺空間が形成されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 85 バスと鉄道の円滑な接続や、利用者のニーズに即した運行などにより、公共交通を利用しやすくなっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 86 高速道路やフェリー、空港などの交通基盤が整っており、広域的な移動が便利になっている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| II 復興計画に関する質問 (No. 87～105) | | | | | | | |
| 被災者の生活再建 | | | | | | | |
| 87 生活資金・就学支援等の支援制度のほか、関係機関と連携した相談窓口体制が整い、被災者の生活支援が充実している。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 88 住宅の復旧・再建支援や一時入居住宅等の提供により、被災者の生活基盤となる住宅が確保されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 89 緊急雇用の創出や事業者への雇用支援、離職者等への職業訓練等により、雇用対策が強化され、職を失った被災者等の経済的自立が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 90 医療・保健・福祉が充実するとともに、震災がれきの処理や環境モニタリング等により生活環境が充実し、市民のより安全・安心な生活が確保されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|--|------|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 地域経済の再興 | | | | | | | |
| 91 漁船、漁港、市場、加工流通の各分野における機能が復旧し、東日本の全体の復興に寄与する水産食料基地として水産業の再興が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 92 農地や関連施設等が復旧し、土壌診断、栽培調査、金融支援策等の経営支援により、地域特性を生かした農林畜産業の再興が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 93 震災の影響により厳しい経営状況にある企業への支援策のほか、企業誘致活動、ポートセールス等の推進により、北東北における産業拠点として企業活動の再興が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 94 観光施設の復旧のほか、種差海岸の国立公園編入を起爆剤に、新たな観光資源の開発や広域的連携を視野に入れた誘客宣伝が進み、各種イベントや情報発信を通じた商業・サービスの活性化が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 95 放射性物質に対する監視体制が整備され、地場産品に関する適切な安全情報の発信等により、産業全般にわたる風評被害が克服されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 都市基盤の再建 | | | | | | | |
| 96 最低限市民の生命が守られるよう、被害をできるだけ最小にする「減災」の視点に立ち、ハード・ソフト両面から震災対策が行き届いた市街地が整備されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 97 北東北の地域経済を支える国際物流拠点港として、八戸港の整備促進や防災力の強化が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 98 市民の生命・財産を守るための海岸や河川の堤防等の復旧整備が進み、津波対策の強化が図られている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 99 避難路となる道路網や避難先となる公園・緑地の整備、建物の耐震化等が進み、災害時における迅速かつ円滑な避難と安全が確保されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 100 バスや鉄道等の公共交通の利便性の向上と災害時の対応力の強化が図られ、災害時における円滑な人の移動や物資の流通が確保されている。 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

| 設問項目 | 現状評価 | 現状評価 (1～6の一つに○) | | | | | |
|-------------------------|--|--------------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| | | 十分満たされている | まあまあ満たされている | どちらともいえない | あまり満たされていない | ほとんど満たされていない | わからない |
| 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態 | | | | | | | |
| 防災力の強化 | | | | | | | |
| 101 | 大震災の経験・教訓を生かし、市の地域防災計画の検証・見直しが進むなど、総合的かつ計画的な防災体制の強化が図られている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 102 | 平常時の防災訓練や防災教育、災害時における広報体制の強化や避難所等の整備により、災害に対する備えと災害応急体制が充実している。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 103 | 水、エネルギー等のライフラインの強化のほか、省エネルギー対策の充実、再生可能エネルギーの導入促進により、災害に強いエネルギーの供給体制が構築されている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 104 | ボランティア活動や地域づくり活動などにより復旧・復興が促進されるとともに、文化・スポーツの振興や各種イベントを通じて、復興に向けた全市的な気運の醸成が図られている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 105 | これまで培ってきた広域連携の実績を生かし、八戸圏域内外との連携強化により、本市並びにゆかりのある市町村の創造的復興が推進されている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

Ⅲ 自由記入欄

今後の八戸市のまちづくりについて、御意見・御提案がありましたら、下の自由記入欄に御自由に御記入ください。

アンケートに御協力くださりまして、誠にありがとうございました。